



創立 150 周年記念 石原学副読本

わたしたちの石原（いしわら）

熊谷市立石原小学校





警察署はどこでしょう？



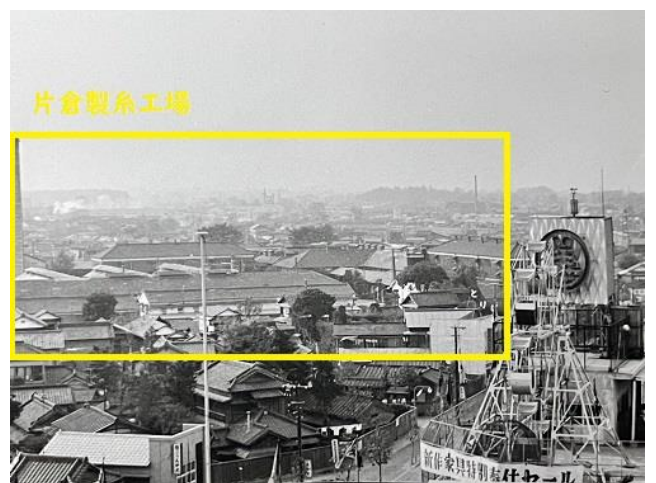
石原小はどこでしょう？

昭和 30 年代の石原地区の風景

↓八木橋から見た西側 丸善 国道 17 号



北側妻沼県道



↑八木橋から見た南側 片倉製糸工場



西側 一番街

わたしたちの石原（いしわら）



○石原地区写真

○昭和 30 年代の石原地区の風景 ○目次

○あいさつ

第1章	石原小ができるまで	p. 2～4	石原小ある昔の道具	p. 5
第2章	石原小学校の誕生から	p. 6～27	統合して石原小学校	P. 6
			昭和の石原小	p. 10～
			戦争のこと	p. 13 行事の歴史 p. 18
			運動会の歴史	p. 19 平成の石原小 p. 20～
			令和の石原小	p. 24～ 現在の石原小 p. 26
第3章	石原小にあるもの	p. 28～29		
第4章	石原かるたで地域を知ろう	p. 30～46		
第5章	石原地区とお祭り屋台	p. 47～50		

- 石原小学校の歴史年表
- 歴代 PTA 会長
- 参考文献 協力してくださった方々 石原小教職員
- 石原小学校 校区図

あいさつ

当時の石原小

第17代校長 来間平八

石原小には、教頭4年、校長3年の計7年勤務しました。昭和58年に教頭として着任したときの石原小は児童数1540人を数える大規模校で県北（秩父、児玉、大里、北埼玉）最大のマンモス校でした。各学年とも7学級ずつあり先生方も五十余人の大世帯で、職員室が密集状態でした。

石原小は昔からの伝統校で先生方も意識が高く、研究や実践に積極的に取り組む風潮がありました。その1つが長年続けてきた一人一研究で、年度末に各自の研究成果をまとめた研究集録を残してきました。4年間他に出向してから校長として戻ることができましたが、校風が以前と多少異なったように感じ、少し淋しい思いがしました。しかし、伝統校としての誇りは保ち続けたと思います。個人的には校歌碑を作り残せたことが記念の思い出になっています。



17代来間平八

読書好きな伝統の中で

第20代校長 加賀崎公子

開校150周年誠におめでとうございます。私が石原小学校に在籍当時に130周年を迎えました。ちょうどこの年に、熊谷市では特色ある取り組みを計画している学校にその活動に必要な費用をだして下さるという内容の募集がありました。読書好きの児童の多い本校では「全校児童に本をプレゼントしてください。そうしたら全校で本を交換し合って、友達の輪を広げます。」という内容で応募したところ取り上げていただきました。千人を超える児童に一人一冊ずつ、自分の好きな本をプレゼントして下さったので、本の贈呈式には市長さんもおいでいただき、130周年記念式典も同じ日に実施しました。現在使われている校旗は、この時PTAから寄贈していただいたものです。読書好きの伝統の中で、学ぶ児童の皆さんが本を通して、大きく成長していかれることを期待しております。



20代加賀崎公子

祝 開校150周年

第21代校長 田尻悟

開校150周年、謹んでお祝い申し上げます。私の在任は退職前の平成17年4月から平成20年3月までの3か年でした。職員はもちろんですが、PTA、そして地域の皆様に支えられ、何とか大規模校での職務を遂行できました。感謝の気持ちで一杯です。特に記憶に残る2点について記します。まず、学校が文教地区にあり、教育環境に恵まれていました。一つの中学、2つの高校が隣接しており、写生会、音楽会、陸上記録会等で交流し連携が図れました。子供たちに実体験を積み重ね、自立への一助になりました。この環境と保護者の協力が、3年間、不登校ゼロにもつながったようです。2つ目は郷土愛、古里意識を育もうと。地域の方や子供たちと石原かるたを作成したことです。カルタ大会も行なわれ、生まれ育った地域を意識し、身近なものになりました。石原小の益々のご発展を祈念いたします。



21代田尻 悟

150周年おめでとう！

第22代校長 浅見信行

歴史を刻み、輝かしい記念の年を迎え、誠におめでとうございます。私は、平成20年から情熱ある教職員と子供達には、「返事 あいさつ あとしまつ」をキャッチフレーズに4年間お世話になりました。特に、新体育館の建設では、設計から細部の要望を聴き入れてもらい地域に誇れる重層の体育館を建設していただきました。また、当時の会長さんと相談し「おやじの会」を設立いたしました。開設時100名以上のお父さんの協力の下、数々の奉仕作業やサマーキャンプの企画運営、お母さんの応援でのカレー作り、手打ちうどん体験と盛りだくさんなイベントで思い出を得る事ができました。更に、印象に残っているのは暗唱学習です。毎休み時間、校長室が発表の児童で満室だった記憶が蘇ります。今後とも、地域と歩んだ歴史をバネに、特色ある地域の学校として進むことを願っています。



22代浅見信行

強く 正しく 睦ましく

第24代校長 飯田明彦

石原小学校の創立150周年、誠におめでとうございます。私は、石原小のすばらしさは校訓「強く正しく 睦ましく」が息づく子どもたちとそれを支える保護者、地域の皆様の姿にあると思っています。学習に真剣に取り組む姿、規律ある態度、どこでもだれとでも交わされるあいさつ、思いやりの心と行動。「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」内藤博士が手計算を積み重ねて設計した東京タワーの美しさが石原小の姿に重なります。在籍した5年間、不幸な事件も起こりましたが、子どもたちは全てのことを力に成長していきました。ささやかではありますが、1つの歴史を積み重ねられたのではないかと思っています。地元の石原小教育に携われたことを誇りに感じるとともに支えてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。石原小の更なる発展を祈念しております。



24代飯田明彦

開校150周年に寄せて

第25代校長 関根達郎

開校150周年おめでとうございます。歴史ある石原小学校の節目の年に立ち会うことができ大変光栄です。令和4年7月9日の熊谷ラグビー場での記念式典には、熊谷市長、教育長、歴代校長先生をはじめたくさんの方々と児童、職員、卒業生2500名余りが一堂に会してお祝いしました。石原小学校の新しい1ページを刻んだといってもよいと思います。あの式典が関係の人々の心の残るとともに、これからますます石原小学校が発展し、新たな歴史を刻んでいくことを祈念しています。この度150周年のくぎりで記念副読本「わたしたちの石原」作成しました。この記念誌で石原の歴史を学習して、子供たちがますます石原や熊谷が好きになり、誇りに思えることを願っています。作成にあたりたくさんの方々にご協力いただきました。感謝申し上げます。



25代関根達郎

地域とのつながりを大切に

PTA 会長 150周年記念事業実行委員長 藤間太郎

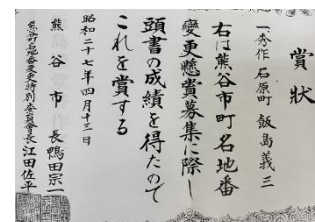
石原小学校開校150周年誠におめでとうございます。石原小学校は地域の方々、卒業生の方々、そして先生方に支えられて150年という大変長い歴史を紡いでまいりました。コロナ禍で制限された学校生活や学校行事、そして運動会もご家族の方々はお呼びできずオンライン配信となり、子どもたちの活躍を対面で見ることが出来ませんでした。七月九日の記念式典・記念事業をみなさんが安心して参加できる会場を検討し、熊谷ラグビー場開催と致しました。たくさんの方々の地元企業や卒業生に呼びかけさせていただき在校生だけでなく地域全体で一つのイベントを作り上げることで、育った学校と地域との繋がりを再認識し、地域の発展や地域の活性化へと繋がっていただけたと確信しております。また在校生には、卒業生や地域の皆様にご参加いただくことで150年の歴史の中にいることを、楽しい思い出を共に感じられたのではないのでしょうか。コロナによって学校と地域との関係性が希薄となった今だからこそ、150周年を通して学校と地域の繋がりを改めて深められるようなきっかけとなれば幸いです。石原小学校の益々の発展と子どもたちの健やかな成長を心より祈念しております。ありがとうございました



時のながれに

書家 飯島澄堂（義三）

石原小学校開校150周年寔におめでとうございます。私は現在94才です。昭和10年4月1年生に入学しました。学校は現在の場所で新築完成された校舎でした。西洋式でモダンな校舎で、それはそれは素晴らしい学校でした。昭和27年4月熊谷市町名地番変更募集にて私が応募した『石原町』が当選し、石原小学校を中心にして今日の発展を見えています。石原小学校「校歌碑」が開校120周年記念として建立されるにあたり「歌碑」を揮毫する栄誉をあたえていただきました。次女が、5月16日生です。小学校6年間 誕生日は開校記念日と同じなので祝日でした。



第1章 石原小ができるまで

1 石原の地

昔、石原村はその名にあるように、^{げんしじだい}原始時代以降、荒川の水由による土や砂がはこばれてつもって 多くの石とともに広大な野原の様子から「石原」の地名が生まれたと考えられています。

「いしはら」とも「いしわら」とも言われています。^{せんご}戦後の^{くかく}区画^{せいり}整理

^{なご}などで名前が^{せいり}整理されて「いしはら」という^{めいしょう}名称になりましたが 「いしわら」は現在石原駅や石原小学校などの読み方として残っています。



地名は「いしはら」



駅は「いしわら」

古墳から奈良 時代、石原周辺は「^{しじゅうはちづか}四十八塚」と呼ばれ、古墳がたくさんありました。古くから人々が生活していた地域でありました。

2 昔の石原

昔、石原村は、良い水が豊富にあり、土質も米作りに適しているため、昔から良質の米ができました。特に、「石原米」を使うと、おいしい「すし」ができるということで、江戸のすし屋向けとして出荷されていました。



○なぜ石原になったの？

○「いしわら」「いしはら」どっちでしょう？



北条堤(ほうじょうづつみ)

石原小の南側にある松岩寺から一番街のあたりに北条堤と言われる土手があったと言われています。そのあとはわずかですが歩くと分かります。松岩寺より石上寺までの堤(北条堤)がつけられました。

天正2年(1574)領主小田原北条氏が、松岩寺裏から石上寺の西まで堤防を造ったので北条堤と呼ばれました。北条氏が造ったので北条堤と呼ばれました。

明治になって桜が植えられ、桜の名所でした。現在は新しい堤ができたためその堤もなくなり市街地となりました。



(1) 石原の江戸時代と文化

江戸時代の石原は武田家の旧家臣で、後に徳川家康に仕えた城 昌茂 (じょう まさしげ) の領地となりました。石原の東漸寺の近くに「郷倉屋敷」「お蔵場」という忍藩に収める年貢米を蓄えていたと伝わっています。米 (石原米)・繭 (石原繭)・酒 (坪井酒) などの産品が流通し、中山道沿いの商家をはじめ、養蚕や米麦を中心とした農家が石原の経済を豊かにしていました。

また、中山道から秩父方面へと分岐する「秩父街道」の始点としても、多くの旅人や役人の交通の要所として栄えていました。「秩父道しるべ」がその歴史を今に伝えています。

(2) 石原村と熊谷宿

江戸時代後期の石原村は、面積は 6.83 km² でした。石原村の人口は、明治元年 (1868) には、400 戸 1903 人となり、男 956 人、女 947 人がいたという記録が残っています。当時、熊谷宿は 2.67 km² で、石原村は熊谷の 2.55 倍の面積でした。

明治 9 年 (1876) には、石原村 (1867 人)、旧熊谷宿 (6842 人)。明治 21 年 (1888) には、石原村 (3090 人)、旧熊谷宿 (7856 人) となっています。このように江戸時代後期から明治時代初期の石原村の人口は熊谷の 30%、明治 21 年 (1888) には 40% の比率まで増加しています。そして、明治 22 年 (1889)、旧熊谷宿と石原村は合併にして、熊谷町が発足しました。

(3) 熊谷宿と合併する石原

明治時代の合併では、石原周辺の人々にとって大きな課題でし

○「秩父道みちしるべ」は今どこにあるでしょうか

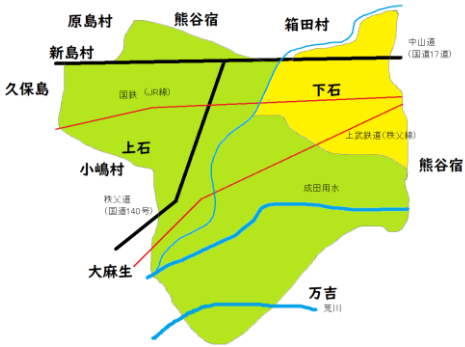


秩父道しるべ

○このころの石原村の人口はふえていっているでしょうか？



昔の地図

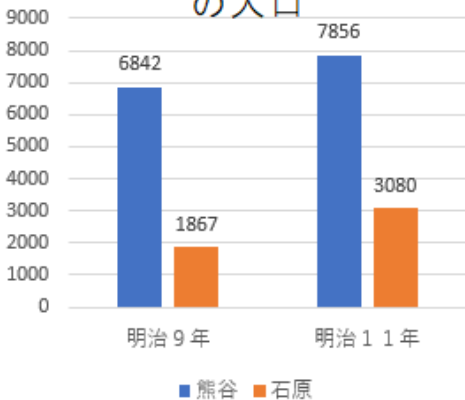


○合併 上石はどこと合併しようとしていたのでしょうか



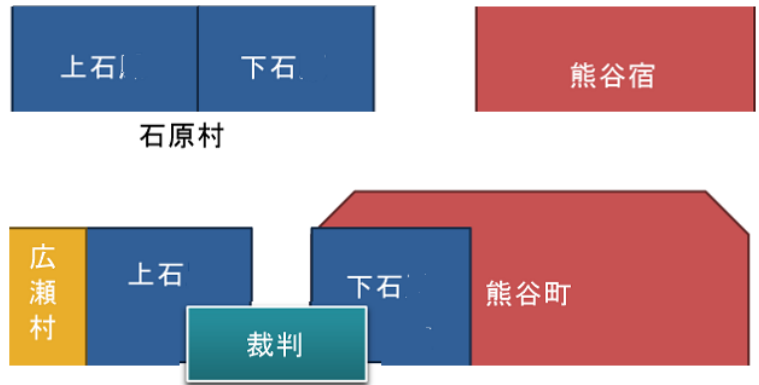
※昔 都(京都)から近いほうを上(かみ) 遠いほうを下(しも)と呼んでいました。だから西側が上石、東側が下石ということですね。

熊谷と石原の人口



た。上石原は^{かみいしわら}広瀬との合併、^{しもいしわら}下石原は熊谷宿との合併を希望していま

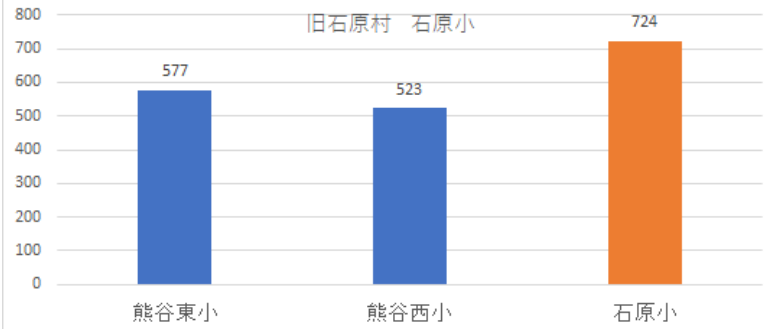
した。県は熊谷宿と石原村全体との合併を進め^{さいばん}裁判の結果、^{けっか}決着しました。明治22年のことです



その後、熊谷町はとりにある^{こいづかわら}肥塚村、^{おおはなむら}大幡村、^{はこだむら}箱田村、^{なりたむら}成田村などとの合併を進め、戦前までは県内でも有数の人口の多い町になりました。旧熊谷宿と旧石原村内の人口比率は^{じんこうひりつ}昭和の頃には、^{しょうわ}変化は^{ころ}ほぼ同じくらいでしたが、現在で、旧熊谷宿地区に比べて、石原地区で人口増加していて、^{しなさいだい}石原小学校の児童数が市内最大になるなど石原地区にはたくさんの方が住むようになりました。



現在の児童数の比較 2022年



石原小にある昔の道具 3号棟の歴史資料室にあるもの

米つくりの道具 ほかにもたくさんあります。



絹糸をつくる道具



○学校はさいしょなんていう名前なのだろう？

○石原小は最初どこにつくられたのだろう？



○開校記念日はなぜ5月16日なの？



第2章 石原小学校の誕生から

1 石原東学校と石原西学校

明治6年(1873)4月、正則小学熊谷学校が熊谷寺に開設され、現在に引き継がれる石原小、東小、西小を含む小学校のもとと考えられています。(しばらく3校は、西校、東校、石原校と言われているのはこのためかと思われます。)

しかし、地域が広すぎるため、明治6年(1873)12月には、石原東学校が松岩寺に、明治7年石原西学校が真宗寺に開設されました。江戸時代、松岩寺及び真宗寺は、寺子屋として学び舎となっていました。

1873年 明治6年12月11日
石原小学校誕生

石原西学校 真宗寺



石原東学校

松岩寺ちかくの民家



2 統合して石原小学校

石原東学校と石原西学校は明治20年(1887)11月に統合され、石原2丁目に「石原小学校」が開設されました。

(1) 開校記念日

石原小学校は石原村立でしたが、石原村と熊谷町が合併することで、一時期、熊谷町立熊谷学校石原分教場となりました。その後独立

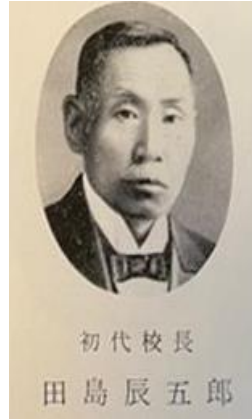
しようという運動が起こり、「熊谷町外組合立石原小学校」として独立しました。その日が明治22年（1889）5月16日のことでした。この日を石原小学校開校記念日としています。

(2) 校舎設立

明治35年（1902）新しい校舎ができました。校舎ができたお祝いのダンスの風景です。前の石原小は憲兵隊跡と言われる17号国道の南側にありました。



校舎ができたときのダンスの風景



初代校長田島辰五郎先生は33年校長を務めました。

(3) 高等科と尋常科

大正時代 当時は、小学校は6年間ではなく、尋常科は4年間、その後高等科は4年間ありましたので、計8年間通う人もいました。

そのときには中学校は今の高等学校にあたりました。



○このころにも中学校はあったのかな？



このころ	今
中学	高校
小学校 高等科 4年間	14才 中学校 3年間 全員
小学校 尋常科 4年間	10才 小学校 6年間 全員
	6才

熊谷高校はこのころ熊谷中学とっていました。

このころ農業科もありました。



かいこの分別をしている小学生

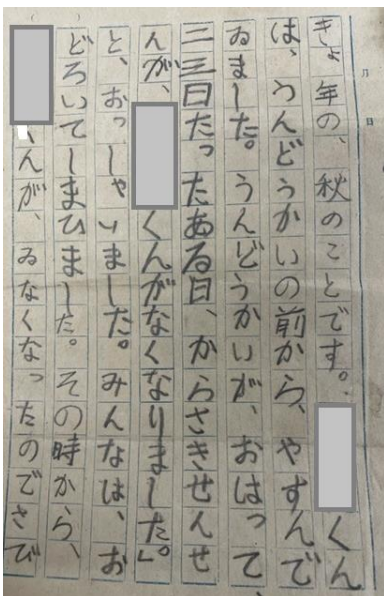


○かいこの糸はどうやってつくるのでしょうか



慰霊文（お別れの言葉の作文）

児童が書いた慰霊文



(4) 養蚕が盛んになる

当時、養蚕が盛んで、蚕業試験場が今の石原小の隣にできました。

そして小学校で蚕の勉強をしていたこともありました。

市内では製糸工場が数多く操業しています。熊谷・石原は「かいこ

の糸」絹糸の生産で盛んなところなのです。



埼玉県蚕業試験場



絹糸を作る工場

絹糸は日本の輸出産業として大きな利益を上げていました。熊谷

市内でもあちこちに蚕のえさになる桑畑がたくさんありました。

(5) 慰霊祭



昭和5年
第14回慰霊祭

大正時代から昭和にかけて学校では、亡くなった児童や先生の慰霊祭をおこなっていました。この頃は、小学生

や先生方も事故や病気で亡くなるのが少なくて、慰霊祭は毎年

行なわれていました。児童代表が友達のためのお別れの言葉を読んでいた。

(6) 針供養

針供養は裁縫（家庭科）使えなくなった針に感謝する行事です。校訓の書の前で代表児童が作文を読んでいます。



校訓の書は、昭和の初め頃、埼玉師範学校の鈴木浩齊先生が書いたものです。埼玉師範学校は今の埼玉大学教育学部です。この書を基に90周年記念の石碑が作られています。書は令和5年（2023）現在校長室に飾られています。

(7) 青少年赤十字登録

大正11年（1922）8月17日、「少年赤十字団準則」を制定し、まず、各郡役所所在地の小学校に設立しようとして勧めた。その結果、年内に14団の結成をみたのである。」（赤十字埼玉百年史126p.より）青少年赤十字（JRC）に学校として登録しました。

※「少年赤十字団」とは、青少年赤十字の前身となります。大正11年10月25日に、熊谷市内の3つの小学校（現熊谷西小・熊谷東小・石原小）で県内初の少年赤十字団が結成されています。

日本の青少年赤十字の発祥となった滋賀県の守山小学校に次いで全国2番目の早さです。

校訓の書



○校訓はいつごろできたのでしょうか？



埼玉県に2つしかない赤十字の旗



作詞石坂養平先生



作曲 下総皖一先生



○校歌のどこに「強く正しく睦ましく」が入っているかな？

○校歌の意味を考えてみよう。



二代校長
朝比奈茂寿

3 昭和の石原小

(1) 校歌が作られる

昭和天皇が即位したことを記念に、校歌が昭和3年(1928)1

1月1日に作られました。作詞は石坂養平先生、作曲は下総皖一先生
でした。校歌の1番2番3番に校訓「強く正しく睦ましく」が織り込まれています。

石原小学校校歌

石坂養平作詞
下総皖一作曲

♩ = 112 活板に

1 はるか くのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく
2 ひさく くのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく
3 はるか くのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく ちのぞく

の ゆき げ もり ま た ー て も え い に ず
の め ー ぐ と り め と り の ほ な に び
ら わ の き さ ー み ど り ぞ わ れ ら が す
る の き よ つ む ー な ぱ た り り わ れ ら が
た う い お お あ い し わ ら し じ じ じ

1番は「強く」
雪解も待たで萌えいずる
若き緑

2番は「正しく」
荒川の、
清き流れ

3番は「睦ましく」
桜堤に競い咲く、花びらの
睦むに似たり

- 1 遥かに望む 秩父嶺の
ゆきげ も 萌えいずる
若き緑 ぞ我らが姿 おお石原小学校
- 2 ひろのうらお
広野潤す荒川の
めぐ めぐ うみ い きよ なが
巡り巡りて海に入る 清き流れぞ
我らが理想 おお石原小学校
- 3 さくらづつみ きそ さ
桜堤に競い咲く 一つ一つの花びらの
睦むに似たり 我らが集い おお石原小学校

(2) 現在の場所に学校移転する

熊谷市が昭和8年(1933)に誕生^{たんじょう}しました。昭和9年11月

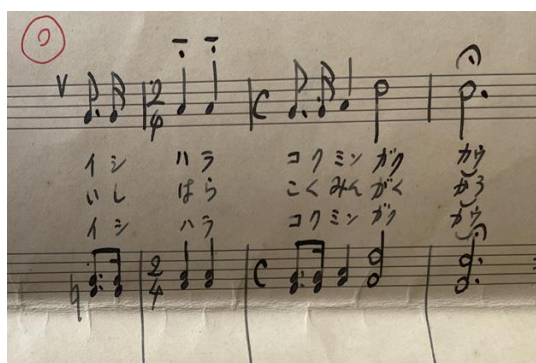
現在の場所に石原小学校は移転^{いってん}しました。



三角屋根の木造校舎が作られました。このデザインは熊谷東小学校と同じでした。2つの教室が繋がった連結^{れんけつきょうしつ}教室もありました。

(3) 石原国民学校

太平洋戦争^{たいへいようせんそう}がはじまり、日本で「国民学校令」^{こくみんがっこうれい}が出されたため石原小学校は「石原国民学校」という名前になりました。校歌も「石原小学校」のところを「石原国民学校」と歌詞を変えて、さらに曲も高く上がるメロディに変えられました。



木造校舎



○木造校舎はどうやって作ったのだろうか？

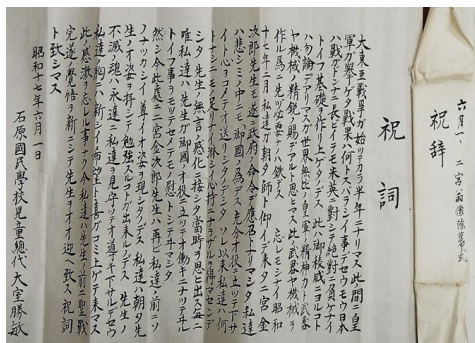


学校で学芸会をやっていました。

○太平洋戦争で学校はどうか変わったのかな？



二宮金次郎像の除幕式の手紙



「金次郎先生もついに政府の命令で
応召となりました」

※ 応召 呼び出される。戦争に行く
という意味です。

○二宮金次郎が戦争に行くというこ
とはどういうことなのだろう。



(4) 石でできた二宮金次郎像が建つ



昭和17年(1941)2代
目二宮金次郎像が建ちました。

初代の二宮金次郎像は金属で

出来ていたので戦争の武器の

ために使われました。その代わ

り石で出来た像が学校に作ら

れました。二宮金次郎は働きな

がら勉強する勤勉な子どもで

した。石で出来た二宮金次郎像が改めて建てられまし

た。(現在たっているのは3代目です)

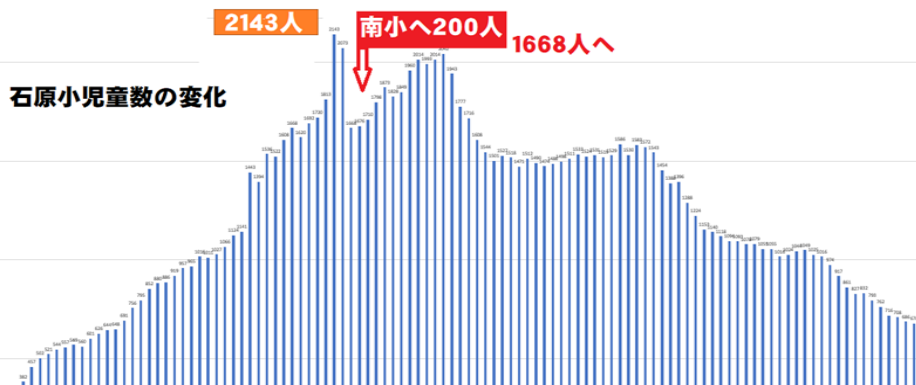
(5) 再び石原小学校に

昭和20年(1945)戦争が終わり、「小学校令」により学校名が「石原国民学校」から「石

原小学校」にもどりました。このころ石原小学校の児童の数は2143名となり、歴代最高にな



1946年 昭和21年 熊谷南小学校ができる
→200人が 熊谷南小へ移籍



りました。人数が多くて教室が足り
ない状態になりました。熊谷南小学

校ができたために、赤城町の児童2

00名が熊谷南小へ移籍しました。

それでも人数が多くて1クラスの
児童数を多くしたり、午前午後で分
けて授業したりして工夫していま

した。「すし詰め学校」と呼ばれて

いたこともありました。

戦争のこと（第2次世界大戦）

戦争の頃の年表 学校の名前の変化と世界のできごと

日本でも大きな戦争がありました。1945年に終戦を迎えましたが、生活は戦争のためにいろいろなことが制限されました。

1945年8月14日夜には、熊谷にも空襲（アメリカ軍の飛行機による攻撃）があり、たくさんの犠牲者がでました。

1925	大正14	886	熊谷町石原尋常小学校	治安維持法公布
1926	昭和1	919	熊谷町石原尋常小学校	12月25日に大正天皇が崩御
1927	昭和2	957	熊谷町石原尋常小学校	立憲民政党結成
1928	昭和3	965	熊谷町石原尋常小学校	大相撲のラジオ実況放送が開始される。
1929	昭和4	1016	熊谷町石原尋常小学校	ニューヨーク市場が大暴落し、世界恐慌が始まる
1930	昭和5	1011	熊谷町石原尋常小学校	世界恐慌の影響を受けて昭和恐慌が発生した
1931	昭和6	1027	熊谷町石原尋常小学校	満州事変
1932	昭和7	1066	熊谷町石原尋常小学校	日本軍が中国軍に対して総攻撃を行う。
1933	昭和8	1124	熊谷市立石原尋常小学校	日本が満州事変に対する批判を受けて国際連盟を脱退
1934	昭和9	1141	熊谷市立石原尋常小学校	ヒトラーとムッソリーニが初の会談を行う。
1935	昭和10	1443	熊谷市立石原尋常小学校	大リーグが初のナイター試合を行う。
1936	昭和11	1394	熊谷市立石原尋常小学校	二・二六事件
1937	昭和12	1536	熊谷市立石原尋常小学校	日中は全面戦争
1938	昭和13	1522	熊谷市立石原尋常小学校	国家総動員法公布
1939	昭和14	1608	熊谷市立石原尋常小学校	国際連盟がフィンランド侵略を理由にソ連を除名
1940	昭和15	1668	熊谷市立石原尋常小学校	日独伊三国同盟条約に調印する
1941	昭和16	1620	石原国民学校	日本軍がハワイ真珠湾攻撃、米英に宣戦布告
1942	昭和17	1692	石原国民学校	日本軍がマニラを占領
1943	昭和18	1720	石原国民学校	第2次世界大戦ドイツ・イタリア軍が降伏する
1944	昭和19	1813	石原国民学校	サイパン島で日本軍が全滅
1945	昭和20	2143	石原国民学校	日本が無条件降伏で太平洋戦争が終結
1946	昭和21	2073	熊谷市立石原小学校	日本国憲法公布



戦中 防空毒ガス訓練
昭和16年～17年 石原2丁目



近藤油屋の壁 松岩寺の門 阿久沢倉庫 1945年8月



空襲のあとの様子

学校にのこる当時の服装

歴史資料室に、当時の軍服・軍帽などが残されています。



水筒



軍帽





目の検査



検便



内科検診



六代校長
山川 達郎

○戦争のあとの子供たちはどんな様子だったのだろうか？



八代校長
太田 重雄



七代校長
小久保 為治



どうして校舎を新しく建てたのかな？



(6) 保健指導

当時、戦後で栄養状態、衛生状態の改善のために、学校保健委員会

を開催して、積極的に保健指導を行いました。現在の内科検診、眼の

検査などのもとになった検診を始めました。

(7) 給食指導

給食室を作って学校で学校給食もはじまりました。この頃の給食は学校で作っていま

した。牛乳ではなく脱脂粉乳という粉をお

湯で溶いて栄養にしていました。



(8) 初の鉄筋校舎を建てる



昭和32年(1957)児童

数が多く手狭になっている石原

小に熊谷初の鉄筋校舎を建築し

ました。

現在の3号棟です。当時は、

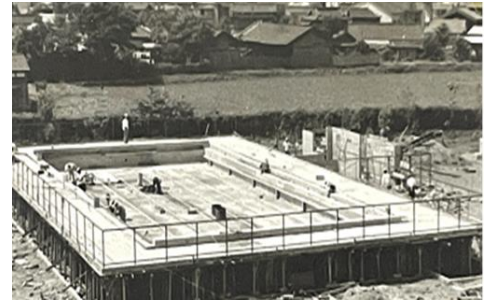
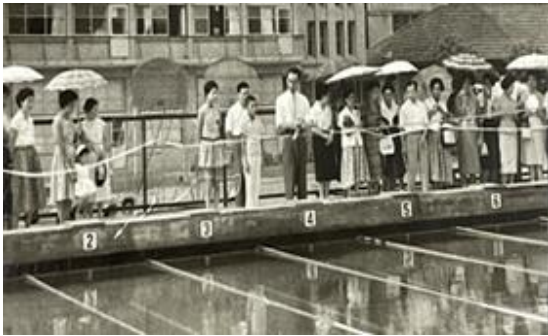
「新校舎・第4校舎」と呼んでいたようです。60年以上経った今で

も健在です。できた時には5年生と6年生の教室でした。



(9) 初めてのプールができる

コンクリートで作られたプールは、当時は念願でありました。PTAといっしょにテープカットを行って使い始めました。昭和35年(1960)のことです。

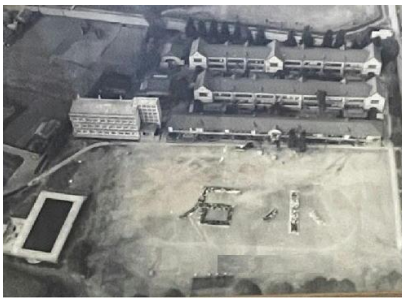


○プールを使い始めるときにどんなことをしたのでしょうか？



(10) 90周年行事

創立90周年の昭和38年(1963)、石原小学校は盛大に90周年記念行事を行いました。学校では「石原小学校90年のあゆみ」という記念誌を作り、現在貴重な歴史の資料になっています。たくさんの方が力を尽くしました。航空写真も撮りました。



創立90周年式典



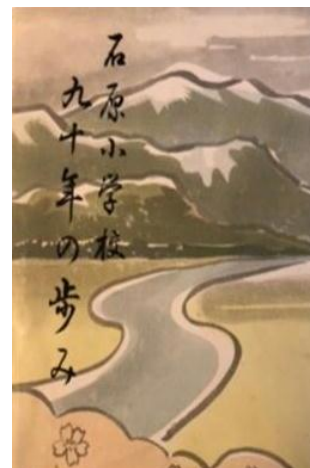
航空写真

創立90周年記念式典 昭和38年

(11) 国体の年に体育館ができる。

学校にはまだ体育館はなく、大きな行事は外や木造校舎の連結教室を使って行っていました。昭和42年(1967)に埼玉県で国民体育大会が行われた年、石原小学校に初めて体育館が作られました。

石原小学校 90年のあゆみ 石原小の歴史がまとめられています



九代校長
新島 秀一



10代
原口昌純校長



火事あとの教室



体育館に教室をつくる

○火事がおきたあと校舎がないのに
どうやって勉強したのだろうか？



外で授業？！



第11代
神沼新十郎校長



石原小の火事

当時の1～6年生の火事の
記憶が作文として残されています。
(校長室収蔵)

(12) 学校の火事 開校100年目の年

昭和47年6月19日未明木造校舎2棟を焼失しました。石原小

は6月19日を臨時休校にして、次の日から熊谷西小や大原中に教室
を借り、体育館を8つに仕切り授業を始めました。暑い中ですが教職
員も児童も一生懸命頑張りました。



その次の年2月
に鉄筋の2号棟が
竣工しました。わ
ずか4ヶ月で新し
い校舎を建てても
もらいました。さら
に翌年、創立100年
を記念して、展覧
会や100周年記念
運動会で仮装行列
を行いました。ど
んな辛い状況でも
先生方も子供たち
も希望を捨てずに
がんばりました。



運動会時の様子



伊藤博文 (いとうひろふみ)

当時 6年生男子の作文

「この焼けた校舎を見てみなさんは何を考えますか...」校長先生はまた、
みんなに質問した。ぼくはあの火事を思い出す。6月19日ウーウーッとい
うサイレンとともに赤い車が走り去る。ぼくはあわてて飛び起きた。着替
えて道に出てみると東のほうに真っ黒いけむりと真っ赤な炎の間にオレンジ
色の火の粉が飛んでいる。そのおそろしさといったら...、地獄とでもしか
表わしようがない。やたらに近づくとじゃまになるので道でしばらく見てい
た。すると「学校が火事だあつ」と走ってくる人がいた。(後略)

(13) 木造校舎が取り壊される

昭和54年(1979)みなさんに親しまれた木造校舎を取り壊して1号棟ができました。赤いかわらは希望者に配られました。学校にはそのかわらや熊谷市のマークが残されています。



(14) 1号棟ができる



現在の1号棟は昭和55年に完成しました。当時 つりクラブがありました。1号棟前の池でつりをしていたようです。

(15) 林間学校は熊谷市立赤城山の家で



当時、群馬県赤城山には「熊谷市立赤城山の家」があって林間学校を行っていました。石原小学校は人数が多いので、3クラスずつ2回に分けて行っていました。老朽化や耐震工事がされてないということで平成23年に40年あまりの歴史に幕を下ろしました。



12代 須長栄作校長

○木造校舎に熊谷市のマークはなぜついていたのでしょうか？



13代 稲村滋治校長



○林間学校や修学旅行はどこに行っていたのでしょうか。

○今、林間学校はどこにとまっているのでしょうか？



14代 有泉是芳校長

学校行事の歴史（旅行先）



昭和初めころの江ノ島旅行



昭和初め頃 森の学校

昭和の初め頃の写真で 江ノ島旅行や森の学校（林間学校）が行われていたことが分かります。

どちらの写真にも2代校長 あさひな 朝比奈先生が写っています。



日光 東照宮



日光 中禅寺湖



修学旅行 箱根

昭和50年頃修学旅行は日光に行っていました。昭和53年頃から鎌倉・箱根方面に変わりました。



昭和36年 千葉岩井海岸 臨海学校



海浜学校 海岸散策

りんかいがっこう 臨海学校 ちばけんいらいかいがん 千葉県岩井海岸で3泊4日民宿を借

りて宿泊していました。海で遠泳えんえいも行われていました。

かいひんがっこう 海浜学校 昭和51年熊谷市内は茨城県大洗の海浜学校に変更になりました。海浜学校は海岸の散策と水族

館に行っていました。

○さいたま博覧会ってどんなイベントだったのでしょうか？

(14) さいたま博覧会



15代 生方恒一校長



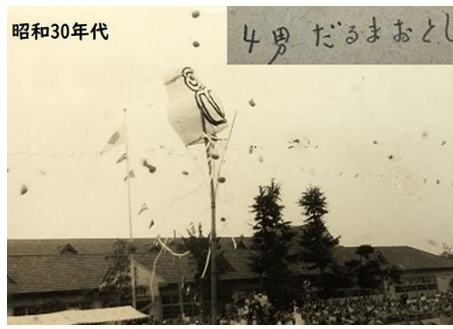
昭和63年熊谷市でさいたま博覧会が開かれました。市内の小学生は見学に行きました。現在は熊谷スポーツ文化公園になっています。

○日本の年号はどんな時に変わるのでしょうか？

(15) 昭和の終わり

昭和64年1月8日昭和天皇が亡くなり、昭和がおわりました。大喪の礼（たいそうのれい）という行事が行われ、学校もお休みになりました。テレビ番組はほとんど全てが天皇陛下の番組になりました。その後年号が平成になりました。

運動会の歴史 大正→昭和→平成



○時代と共に変わっていった運動会今でも変わらないものはなんですか？



○みんながやってみみたい種目は何か？

○平成になって学校ではどんな
工事がおこなわれたでしょうか？



16代
渋谷文夫校長



120周年航空写真



17代
来間平八校長



6年生を送る会で6年生のために全校で貼り絵を作りました。この頃からはじまりました。コロナ禍まで続きました。

4 平成の石原小

(1) 校庭の改良

平成元年 校庭が雨水をためておくための池の^{やくわり}役割をする工事をしました。そのときに植えられたのが桜の木です。30年以上たって3号棟の



前の桜は立派になりました。工事の様子 この工事のあとから校庭の水はけもよくなりました。

(2) 120周年記念行事



石原小は120周年の記念に校歌の碑を作成しました。この文字を書いたのは、本石町の飯島澄堂（ちょうどう）先生です。

(3) 運動会が5色対抗に

運動会はながらく紅白対抗でやっていましたが、5色対抗でやるようになりました。（赤 緑 黄色 青 ピンク）応援団もたくさんあって盛り上がるようになりました。たてわり活動もはじまりました。



(4) 石原小まつり



石原小まつりが行われていました。各クラスの出し物が出されました。



(5) 合唱部・市内音楽会

石原小に合唱部がありました。NHK・TBSコンクールに出たり、市内音楽会でも活躍したりして音楽も盛んに行われていました。



さくらめいと 1998年

1998年(平成10年)に文化創造館 さくらめいとができました。熊谷会館でやっていた市内音楽会は、そのあとさくらめいとでやるようになりました。

(6) 学校ホームページ開設

1995年コンピュータ室ができて初めてインターネットが学校でも使えるようになりました。石原小学校ではいち早くインターネット利用に取り組み、平成9年9月28日 公式ホームページを開設しました。埼玉県内では吹上小に続いて2番目に早く開設しました。

特徴あるクラブ



原始人クラブ



18代
清水信二校長



合唱部 こども音楽コンクール出演



19代
新島養平校長



○彩の国まごころ国体の会場はどこでやったのでしょうか？



20代
加賀崎公子
校長



○ロック直実はどんな踊りだったのでしょうか



21代
田尻悟校長



犬のおまわりさん防犯パトロール



○郷土かるたは誰がつくったのでしょうか？

(7) さいくに 彩の国まごころ国体



熊谷スポーツ運動公園をメイン会場に平成16年彩の国まごころ国体が行われました。

聖火リレーにも参加しました。

(8) オド-レnaozane



直実節の現代版で鳴子を使って踊る「ロック直実」を踊りました。石原小の先生と子どもが赤いはっぴで熊谷市のイベントに参加していました。

(9) わんわんパトロール

こどもの安全が話題になる事件がおきました。このころから学校の安全を見守るための活動が行われ始めました。石原小では犬を散歩しながら安全を見守るワンワンパトロール隊も組織されました。

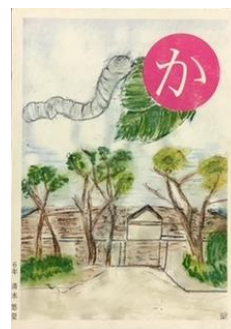
(10) 石原郷土かるた作成



平成21年石原小学校区の地域の方々・教職員・子供たちが力を合わせて郷土かるたが完成しました。

時間をかけて作成した立派なかるたです。

現在でも活用しています。



(11) 県下の体育館



平成21年広さや設備で「**県下の体育館**」といわれた2代目体育館が完成しました。**耐震基準**を満たした**自慢**の体育館です。

(12) 運動の石原小



石原小は運動会や陸上フェスティバル、タグラグビー大会など運動に力をいれて大きな成果を上げていました。**おおにんずう**大人数での陸上フェス

ティバルの応援は盛り上がりました。

(13) いしわラッコの誕生

平成29年 子供たちのアイデアの中から石原小のキャラクターいしわラッコが誕生しました。いしわラッコは石原小の子どもが「いしわらっ子」と呼ばれているのとラッコをかけてできました。石で出てきているので灰色です。ランドセルを背負って貝の形の防犯ブザーを持っています。着ぐるみのいしわラッコもできました。「おやじの会」のみなさんがつくってくださいました。

平成28年に不幸な事件が近くで起きたので、安全の意識の高いキャラクターになっています。



運動会での多段ピラミッド



22代
浅見信行校長



23代
向井邦明校長



○どうしてラッコのキャラクターになったのかな？



24代
飯田明彦校長

(14) 平成から令和へ

平成31年の途中から令和元年になりました。天皇陛下は、高齢を理由に生きていた内に天皇陛下の地位を、息子の皇太子徳仁親王にゆずることになりました。天皇の生きていた内に変わるのは約200年ぶりのことです。

日本は5月1日、平成に代わる新元号を「令和（れいわ）」と発表しました。新天皇が即位する5月1日午前0時から平成から令和に切り替わりました。



○熊谷市に大きなラグビー場があるのはなぜですか

ワールドカップでアメリカ・ジョージア・ロシア・ウルグアイ・サモア・アルゼンチンの国が試合を行いました。

2019年9月24日 (火曜日) 19時15分	ロシア vs サモア
2019年9月29日 (日曜日) 14時15分	ジョージア vs ウルグアイ
2019年10月9日 (水曜日) 13時45分	アルゼンチン vs アメリカ



○コロナで人々の生活はどのように変わったでしょうか？



○GIGAスクール構想の前にはどこでパソコンを使っていましたか



石原3町お囃子体験

5 令和の石原小

(1) ラグビーワールドカップ開催



令和元年 日本がラグビーワールドカップの開催地になりました。熊谷ラグビー場でも試合が開催され全校児童が応援に行きました。試合をした国の国歌を歌ったり、旗をつくったりしました。ラグビータウン熊谷市の小中学生は、全員参加した大

きなイベントになりました。「応援が素晴らしい」とテレビのニュースなどで日本全国に紹介されました。

(2) コロナ禍で学校が3ヶ月休み

令和2年3月～5月まで日本全国で学校が休みになりました。コロナ対策のために全員がマスクをしたり、検温をしたりしました。音楽や体育、家庭科の授業は大幅に制限されました。運動会も保護者の見学はなし、石原小学校はリモートで見学になりました。全国でバスによる旅行もすべて中止になりました。石原小はそれでも徒歩で遠足や修学旅行を行いました。

(3) GIGAスクール構想



令和2年から日本全国で一人一台タブレット端末を配付して勉強することになりました。リモート授業やドリル学習が出来るようになりました。

(4) 石原学・熊谷学はじまる

令和4年 石原のこと・熊谷のことを知って、楽しく学習する石原学・熊谷学がはじまりました。郷土かるたで地元を歩いたり、地域の人にお祭りや郷土のことを教えてもらったりして石原の良いところや熊谷のよいところを体験するようになりました。

(5) 150周年式典

令和4年7月9日ワールドカップを行った県営熊谷ラグビー場で150周年式典を行いました。全校直実節や地元のラグビーチームパナソニックワイルドナイツやアルカス熊谷の選手もきて、合同運動会を行いました。卒業生、地域保護者児童合わせて2500人以上が集まりました。



会場では全校直実節を会場に来ていた1475人で踊り、熊谷ワールドレコードとして熊谷市長さんが全校直実節記録を認定してくださいました。

150周年記念ソングもつくられました。

「僕らがつなぐ物語」 作詞 石原小児童+有梨 作曲 有梨

校庭吹きつける空っ風に
耐え抜いた新芽の春が 今年もやってきた
教室からの眺め 移りゆく景色
昔の子どももきっと見てきたのかな

時代が変わっても生き続けている
変わらない思いがここにある

受け継がれた物語の
新しいページを開いて 想像してみよう
何も書いてないそのページの
続きを自由に描こう 僕らの未来を

おはよう ありがとう ごめんさい
気持ち言葉を乗せて伝える瞬間
自然と生まれるよ みんなの笑顔
それが僕らの伝統 勇気出して

くじけそうな時があってもいい
その涙がいつか強さになる

走り出した物語は
遥か昔から今日まで そしてこれからも
続いていく さあ僕らの
絆のバトンに託して 明日へ繋ぐんだ

受け継がれた物語の
新しいページを開いて 想像してみよう
何も書いてないそのページの
続きを自由に描こう 光り輝く

未来へと 物語は時を超え今日まで
沢山の歴史を綴ってきた

ここで会えたその縁(えにし)に
ありがとうを込めて 僕らの 物語は続く

○150周年式典はどこで行われたの？



150周年ロゴマークは当時6年生の原田萌利さんの作品です。

○150周年記念ソング「僕らがつなぐ物語」は、シンガーソングライターの有梨さんが子供たちの作詞を集めて歌詞にして、作曲してできた曲です。明るく元気のでる曲です。



シンガーソングライター
有梨

聞いてみよう



僕らがつなぐ物語
歌 150周年

6 現在の石原小

コロナ禍を通していろいろなことをやりました。コロナが終わってからも続けるもの、コロナが終わったらやらなくなったものがあります。

コロナ禍でやったことは、健康教育とICT活用と新しい行事です。

(1) 健康教育 コロナ5類になって熱中症対策で傘差し登下校は継続しています。



手洗いの充実



朝の検温チェック



かささし登下校



前向き給食

(2) ICTの活用 教室には電子黒板があります。時間を超えて場所を越えてできるのがICT技術です。



zoom 朝会 集会



リモート行事 英会話 プール開き



運動会youtube配信



360度カメラによる
バーチャル社会科見学



オンライン授業



委員会動画作り

懇話のポイントを
チャイム席と姿勢正しく

(3) 新しい行事 従来の行事も復活できるものは復活、新しい行事もたくさん取り入れています。



コロナでたくさんの新しい授業や行事が生まれました。コロナが終わっても新しい伝統として続けているものもあります。コロナで学校や人々の生活は大きく変わりました。それでも工夫して進めるようにしています。

第3章 石原小にあるもの

石原小にあるものどこにあるかがしてみましよう

①校旗 石原小の校章が入っています。石原小の校章は石原米をイメージしてお米のマークが入っていますが以前はちがうデザインでした昭和17年に現在のものになりました。



現在の校旗昭和17年改作

昔の校旗

②子育てたぬき

毎日きちんとあいさつしている姿をみて、だれかが児童の登校を見守るが良いと感じた当時の業務主事さんが家からたぬきのそです。平成20年頃



③校訓の碑

(こうくんのひ)
強く正しく睦ましく
が書いてあるこの石
90周年の時に作られました。



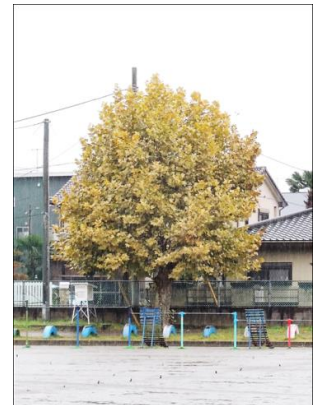
④プラタナスの木

学校がここに移ってきた昭和9年からある。90年近くここに立っています。



実 じだんぼと

言われていわれています。



⑤二宮金次郎像(にのみやきんじろうぞう)

平成20年1月 増田常三氏寄贈
仕事をしながらもいっしょけんめい勉強した人の像。この像は3代目になります。

2代目二宮金次郎像→
雷が落ちて壊れました。今はもうありません。初代は金属製でした。戦争に供出されました。



⑥頌徳碑 (しょうとくひ)

初代校長田島辰五郎先生は33年間校長を務めました。初代校長の田島辰五郎先生のこと書かれています。



⑦昔からある北門

北に残されているこの門は90年以上前に作られた門です。昔の三角屋根校舎のデザインを使っています。

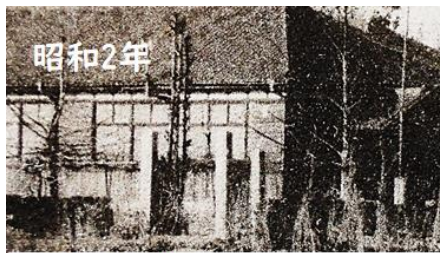


昭和9年



⑧昔からある南門

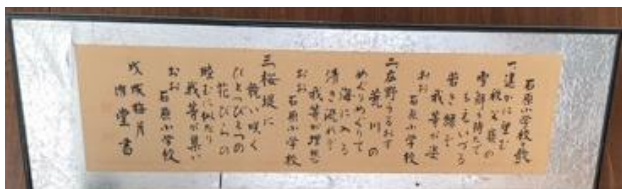
100年前にあった門を今の学校に持ってきています。



今の南門

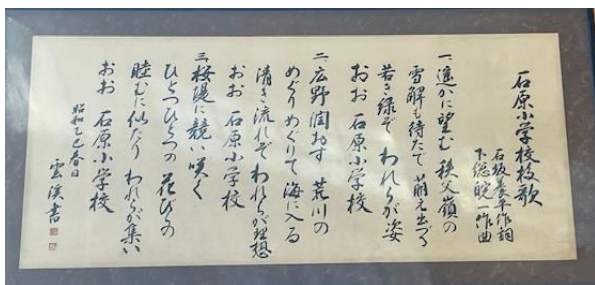


⑨校歌の額（こうかのがく）



柴田侑堂（しばたゆうどう）先生が書いた校歌額

⑩校歌の額2



浅見雲溪（あさみうんけい）先生が書いた校歌額

⑪学校の扁額（がっこうのへんがく）



明治時代 西園寺公望（さいおんじきんもち）という文部大臣が書いた学校の額です。立命館大学を作ったときにかかわった人の一人です。

どこにあるか書いてみましょう

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()

- ⑤ ()
- ⑥ ()
- ⑦ ()
- ⑧ ()
- ⑨ ()
- ⑩ ()
- ⑪ ()

第4章 石原かるたで地域を知ろう

平成21年に石原小学校で作られたかるたでは石原の近くにあるものが紹介されています。かるたで出てきたものを調べてさがしてみましょ。う。

1 石原小学校の近くの施設

養業試験場(さんぎようしけんじょう) か

かいこを育て研究した 蚕業(さんぎよう)試験場(しけんじょう)
大正2年に設立され養蚕の研究や蚕種(蚕の卵)の製造等を行いました。養蚕・製糸業が衰退したため、平成10年に廃止されました。

☆ちなみに… 跡地はみんなが使うこともある、石原小学校横のひろばです! このあと子育て施設を立てる予定になっています。



か かいこを育て研究した蚕業試験場 昭和10年代



片倉シルク館(かたくらしるくかん) ま

繭(まゆ)を紡ぐ 歴史を残すシルク館

明治40年片倉組石原製糸所が操業を開始しました。大勢の女性従業員がいましたが、輸出が激減してしまい、平成6年に操業を停止しました。現在、跡地はシルク記念館と熊谷サティになっています。

☆なぜ激減してしまったのかというと…

昭和40年の着物ブームを最後に着物離れが進み国内需要も低くなってしまったため。



ま 繭で紡ぐ歴史を残すシルク館(片倉) 片倉熊谷工場(石原) 昭和15年頃



1 石原小学校の近くの施設

熊谷警察署(けいさつしょ) み

みんなの安全 守ってくれる 警察署

終戦前には現在のコミュニティ広場の所の中山道に面してありました。戦災で焼失した後は市役所通りに面して庁舎が建てられました。しかし、この位置周辺は、市のテクノグリーン計画のために立ち退くこととなり、昭和44年に石原の現在地に移転しました。私たちが安全・安心の生活を送れるように、署員の方々が日夜活動されています。



み みんなの安全守ってくれる警察署 熊谷警察署



中央交番(ちゅうおうこうばん) り

立派だな 交番勤務の 警察官

桜町にある中央交番の警察官は、管内パトロールや、交番を訪ねてきた人の相談にのるなど、地域の人たちの安全・安心のために、日夜活躍されています。

☆交番の建物は、うちわ祭りの山車の形をしています。



り 立派だな交番勤務の警察官(中央交番)



うちわ祭りの山車

1 石原小学校の近くの施設

石原婦人児童館(ふじんじどうかん) ゆ

友情も 夢も育つよ 児童館

石原婦人児童館は、熊谷保健所のあとに建てられました。中に石原公民館もあり、地域の人たちの活動拠点となっています。石原第1児童クラブもあります。老朽化が進み取り壊される予定です。



ゆ 友情も夢も育つよ児童館
熊谷保健所(本石) 昭和26年



熊谷地方気象台(ちほうきしょうだい) ら

雷雲に 予報気になる 気象台

明治になって生糸の輸出が盛んになり、関東地方をはじめ、全国的に養蚕農家が増え、熊谷周辺でも桑の栽培が増加しました。この時農家が困ったのは、霜による桑の被害でした。埼玉県では霜による被害を防ぐため、降霜の予報を流すべく養蚕の中心地の熊谷に、明治29年に熊谷測候所を設立しました。

現在は気象観測、天気予報、指定河川洪水予報、地震の震度測定など、毎日の生活に欠かせない情報の発信基地になっています。



ら 雷雲に予報気になる気象台
熊谷測候所 昭和初年



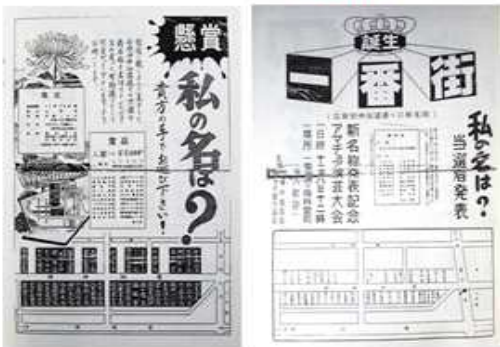
1 石原小学校の近くの施設

一番街 中山道(いちばんがい・なかせんどう) い
 一番街 むかしなつかし 中山道

中山道は京都と江戸を結ぶ重要な街道で、熊谷の商店街は中山道(国道)沿いに発展しました。終戦後の戦災復興計画で、熊谷寺前から西の17号国道は、新しいルートになり、旧中山道は一番街などの商店街になりました。



い 一番街 むかしなつかし中山道
 石原旧中山道通りの名称募集 昭和33年 一番街誕生



石原駅(いしわらえき) え

駅名に「いしわら」の文字 秩父線

明治32年上部鉄道株式会社設立、同34年10月に熊谷～寄居間が開業されました。石原駅はこの開業の時からありました。大正5年秩父鉄道株式会社に社名変更しました。昭和3年3月三峰口まで延長、秩父鉄道の路線は、羽生～三峰口となりました。昭和8年4月に鎌倉町駅を開業、同年7年に上熊谷



駅に改称しました。昭和63年には、熊谷市で開催されていたさいたま博に合わせて、SLパレオエクスプレス号の運転を開始しました。

え 駅名に「いしわら」の文字秩父線
 (石原駅) 昭和56年

SLパレオ
 エクスプレス



2 歴史の場所

ちちぶ道しるべ ち

ちちぶ道 三本並んだ 道しるべ

ちちぶ道は、石原の地で中山道から分岐しています。分岐点近くのかめの道公園に、三本の古い道しるべが建っています。左がちちぶ道の道しるべ、真ん中は秩父観音巡礼案内、右は宝

ち ちちぶ道 三本並んだ道しるべ
秩父道しるべと妻沼線 昭和33年頃



登山道の道しるべです。



今はかめの道に移動しました。

一里塚(いちりづか) を 旅人をひと息させる 一里塚

江戸幕府は慶長9年(1604)道中の目印として、中山道の一里(4km)ごとに塚を設け、榎の樹を植えさせました。石原では新島の旧中山道に一里塚があります。この樹は樹齢300年以上ですが、なぜか榎ではなくてけやきです。石原地区周辺は交通の便が良く、とても便利ですね。今は路線や道として使われていない場所も多いですが、跡地を訪ねてみると、昔からのなごりが残っていたり、看板が建てられたりしていますよ。ぜひ、確かめに行ってみてくださいね!現在はケヤキの木は切られて切り株だけになっています。

を 旅人をひと息させる一里塚
新島車庫と一里塚 昭和48年



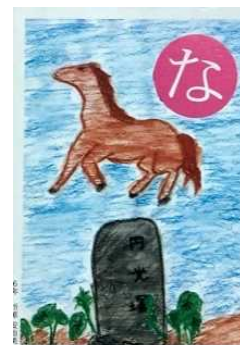
現在の一里塚(2023年)

2 歴史の場所

円光塚(えんこうづか)な

直実の 愛馬がねむる 円光塚

熊谷直実公が、一の谷の合戦で乗っていた愛馬については、いくつかの伝説があります。一つは直実公の家来の権太が東北地方一の戸で探してきた名馬が権太栗毛だという説で、もう一つは高崎郊外の権田村で手に入れた権太栗毛だという説です。一の谷で怪我をした権太栗毛が熊谷の円光で亡くなり、その供養のために造ったのが円光塚だという説があります。



な 直実の愛馬がねむる円光塚
昭和48年



北条堤(ほうじょうづつみ) そ

その昔 桜の名所 北条堤

天正2年(1574)領主小田原北条氏(りょうしゅおだわらほうじょうし)が、松岩寺裏から石上寺の西まで堤防を造り、北条堤と呼ばれました。明治になって桜が植えられ、桜の名所となりましたが、戦災復興計画(せんさいふっこうけいかく)で堤は取り壊され、今は市街地になっています。



そ その昔 桜の名所 北条堤
旧土手大神宮付近 昭和初年頃



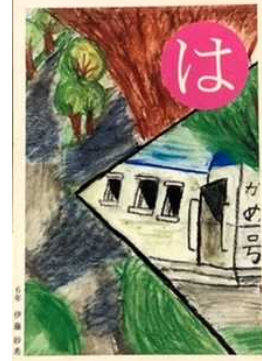
2 歴史の場所

かめの道 は

廃線（はいせん）の 妻沼線（めぬません）あと かめの道

東武熊谷線（通称妻沼線）は、太平洋戦争中に太田の中島飛行機株式会社の従業員と資材運搬のために、鉄道建設の計画をしました。そして、熊谷～妻沼間が昭和18年12月に完成開業しました。続いて、利根川鉄橋の工事に取り掛かりましたが、20年8月、終戦のため工事は中断されました。

開業当初は、旧式の長い煙突のSLで、力が弱く、高崎線を越すための土手の傾斜が登り切れないほどでした。そのため、いったんバックし、助走をつけてから登りなおしていたことから、かめ号の愛称で呼ばれることとなりました。昭和29年にディーゼルカーに切り替え、スピードアップとサービス向上に努めました。が、乗客の減少で、昭和58年5月末をもって東武熊谷線は40年の歴史に終止符を打ちました。現在、レール敷地は、熊谷市、妻沼市に無償貸与され、かめの道公園や市道として利用されています。



は 廃線の妻沼線あと かめの道
昭和58年5月31日廃線



現在の「かめの道公園」



↑
現在 妻沼展示館で当時妻沼線の車両が保存されています。見に行ってみてください。

昭和38年 妻沼線ガードレール



妻沼線が通っていた頃の 国道17号線 石原1丁目交差点
現在 令和4年

3 神社・お寺

大原稲荷(おおはらいなり) う

「馬次郎」と言われる稲荷は 大原稲荷

慶長年間(1592年)、地元の篤志家(とくしか)「馬次郎」が京都伏見稲荷より寄進(きしん)して「大原馬次郎稲荷」と呼ばれるようになりました。現在の社殿は、昭和8年に熊谷の竹井澹如(たけいたんじょ)氏が建て替えたものです。

※篤志家 人のために奉仕する人※寄進 神社にお金を寄付すること



う 「馬次郎」と言われる稲荷は大原稲荷



八坂神社(やさかじんじゃ) や

八坂(やさか)様 石原・本石のまつり神

八坂神社の創建された年月については、資料がないので不明ですが、高城神社所蔵の宝暦2年(1752)に描かれた熊谷宿古絵図には、天王社として載っており、同図ではこの付近の中山道筋が天王丁1丁目と記されていることから、絵図のかなり前から天王社があったことと思われます。

京都の総本山が八坂神社と改称されたので、石原の天王社も八坂神社と改称されました。明治42年八坂神社はお神輿(おみこし)の建物だけが残されました。終戦前夜の空襲でこの建物も焼失し、しばらく空き地になっていましたが、石原地区の八坂祭典の中心として、八坂神社を再建したいとの気運が盛り上がりました。そして地元全員の協賛寄付金で、昭和40年(1965)7月に再建されました。



や 八坂様 石原・本石のまつり神



3 神社・お寺

報恩寺(ほうおんじ) よ

陽光に 輝く 薨いらか 報恩寺

報恩寺は、熊谷直実公の息女(そくじょ)の玉津留(たまつる)姫が、父母の恩に報(むく)いるために、建暦(けんりゃく)2年(1212)に本町(現熊谷郵便局)に開基されました。昭和20年8月の戦災で全焼、昭和36年に現在地に移転し、平成13年に現本堂に改築されました。



よ 陽光に輝く薨 報恩寺 昭和8年



熊谷寺(ゆうこくじ) れ

蓮生坊(れんせいぼう)しのぶ館の熊谷寺(ゆうこくじ)

源平合戦で活躍した熊谷直実は、武士生活に無常を感じて出家し、蓮生法師と名乗って建久6年(1195)熊谷に念仏道場を建てました。その後およそ380年後の天正年間に、幡随意上人ばんずいしょうが蓮生庵の跡に熊谷寺を建立しました。大正4年に現在の本堂が建てられました。明治6年熊谷県が発足し同9年までの3年間、県庁舎は熊谷寺に置かれました。



れ 蓮生坊 しのぶ館の熊谷寺 熊谷寺 昭和初年



※花祭りと8月16日だけ
一般参拝できます。

3 神社・お寺

赤城久伊豆神社(あかぎひさいずじんじゃ)ん

赤城久伊豆(あかぎひさいず)神社 石原地区の 鎮守神

赤城久伊豆神社は、地元では石原の鎮守様と呼ばれています。赤城神社は、群馬県前橋市の赤城神社の神様が降臨するように作られたもので鏡内北側の鳥居は赤城山に向けて建てられており、また神楽殿も赤城山を向いています。



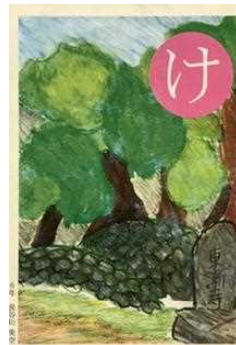
ん 赤城久伊豆神社 石原地区の鎮守様



東漸寺(とうぜんじ) け

境内に 古墳が二つ 東漸寺

東漸寺付近は石原・坪井古墳群と言って、四十八基もの塚(古墳)があったと言われており、現在でも東漸寺の境内には二基の古墳があります。東漸寺は天正三年(1575)建立の古いお寺ですが、古墳はさらに千年くらい前のものです。



け 境内に古墳が二つ 東漸寺



墓地の中にある坪井古墳

3 神社・お寺

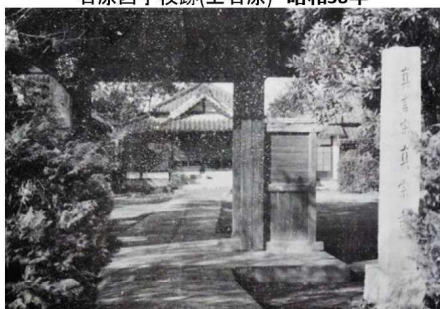
真宗寺(しんそうじ) て

寺子屋のあった真宗寺(しんそうじ)

真宗寺は、840年前に建立され、幕末には寺子屋もありました。明治六年に東漸寺に石原西学校が設立され、明治14年には真宗寺境内に移転し、明治20年に尋常小学校石原学校ができるまでここにありました。

て 寺子屋のあった真宗寺

石原西学校跡(上石原) 昭和38年



松岩寺(しょうがんじ) と

時を告ぐ 松岩寺 平和の鐘

松岩寺は慶長元年(1596)に建立され、幕末には寺子屋がありました。明治7年から明治20年まで、石原小学校の前身の石原東学校がここにありました。昭和32年に作られた平和の鐘が毎日朝夕時を知らせています。

東漸寺、真宗寺、松岩寺には、①幕末には、塾・寺子屋があったこと ②石原小学校の創立に関係したことという二つの共通点があります。今年150周年を迎える石原小学校ですが、この3つのお寺がなくては今の石原小学校はなかったのかもしれないね。

と 時を告ぐ松岩寺 平和の鐘

松岩寺 平和の鐘



3 神社・お寺

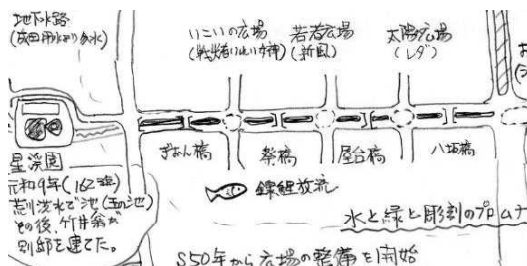
石上寺(せきじょうじ) ほ

星川の 源流近く石上寺

石上寺は、江戸時代初期に栄光上人(竹井家祖先)が開山したと伝えられています。熊谷宿古絵図には石上寺のすぐ北に玉の池が描かれています。この池は荒川の伏流水が湧き出した泉が水源で、ここから流れ出たのが星川です。



ほ 星川の源流近く石上寺 昭和8年



星溪園

この池の周辺は、富豪武井家の土地で、幕末の慶応年間竹井澹如(たけいたんじょ)翁が別荘池亭を造りました。現在は市指定文化財星溪園となっています。 終戦前夜の空襲の際には、鎌倉町の星川に大勢の方が避難しましたが、川の水量が少なかったため、熱風と熱水のため何十人もの方々が亡くなりました。 現在は北大通りの中央交番の所から、星溪園まで掘削した地下管路により、成田用水から取り入れた水を星川に流しています。



星川

4 学区にある学校

大原中(おおはらちゅう) く

熊商の 学舎のあとの 大原中

熊谷商業学校は大正9年に設立され、昭和3年に現在の大原中学校のところに移転してきました。市立女学校が大原の熊商の後に入り、熊商は広瀬の工場跡地に移転しました。昭和22年新制中学校設立の際に、大原中学は大原の市立女学校と同居の形で開校しました。昭和25年に市立女学校は県立熊谷女子高等学校に合併したため、大原中学は専用校舎となりました。石原小の卒業生のほぼ半分が大原中に通っています。



く 熊商の学舎のあとの大原中
熊谷商業高等学校(石原) 昭和8年



荒川中(あらかわちゅう) せ

瀬鳴りやさしい 荒川のほとり 荒川中学

荒川中学は昭和22年に設立され、荒川の近くなので荒川中学と命名されました。最初は赤城町の元兵舎の後を校舎としましたが、昭和23年に現在の位置に校舎を新築して移転しました。石原小の卒業生のほぼ半分が荒川中に通っています。



せ 瀬鳴りやさしい荒川のほとり 荒川中学
中学校校舎・玄関 昭和51年12月



4 学区にある学校

熊谷高校 こ

甲子園 熊高野球部 準優勝

明治28年埼玉県に2つの県立中学校が開校、浦和の第一中学と熊谷第二中学です。後に熊谷中学になり、昭和23年に県立熊谷高等学校と改称しました。昭和24年に熊高野球部は甲子園の高校野球大会に埼玉県勢として初出場2年後の昭和26年には決勝まで進みました。その後昭和59年にも甲子園に出場しています。近くの高校なので熊谷修学旅行で行ったときは授業を体験させてくれます。



こ 甲子園 熊高野球部 準優勝

準優勝ナイン 昭和26年



熊谷高校 あかいらか校舎

熊谷農業高校 の

農業・酪農・バイオを育てる熊農高

明治35年に埼玉県立甲種農業学校が設立され、翌明治36年に熊谷農学校に、昭和23年に熊谷農業高等学校に改称されました。高校になった時から男女共学になり、四科・七コースを有する、農業関係の専門高校です。農業だけでなく酪農（家畜を飼う）バイオテクノロジーの勉強もしています。高校のお兄さんお姉さんとの交流で手作りの交通安全のお守り「事故帽子」（じこぼうし）を送ってもらっています。



の 農業・酪農・バイオを育てる熊農高

昭和48年



熊谷農業高校

5 石原地区のこと

石原の地 あ

荒川が 流れてできた 石原の地

荒川は、「荒れ川」が語源と言われるほどの氾濫する川でした。石原付近一帯は広い範囲で荒川の流路となっていて、砂や石が堆積して石の原になっていましたので、石原の地名ができたと言われています。



あ 荒川が流れてできた石原の地
荒川水泳 昭和10年



石原米 す

すし米と 江戸への出荷 石原米

石原は、良い水が豊富にあり、土質も米作りに適しているため、昔から良質の米ができました。特に、「石原米」を使うと、おいしい「すし」ができるということで、江戸のすし屋向けとして出荷されました。



す すし米と江戸への出荷 石原米
秩父セメント団地が見える田植え(石原) 昭和39年頃



秩父セメント団地跡 現在の様子

5 石原地区のこと

大原地区 お

大原は 環境豊かな 学園地区

大原には、熊谷高校（元熊谷中学校）、熊谷農業高校（元熊谷農学校）、大原中学校（熊谷商業学校、桜雲女学校の跡）があり、そばに石原小学校もあって、環境に恵まれた学園地区となっています。

大原地区を学校では北地区と言っています。

お 大原は環境豊かな学園地区
熊谷中学校(石原) 昭和7年



上石地区

旧石原村上石地区がありました。
在学校では西地区と言っています。

本石地区(石原地区)

旧石原村下石地区がありました。下石地区は本町+石原で本石となったと言われている。現在学校では南地区と言っています。

ほかには 赤城町 南地区 桜町 南地区 などがあります。

6 石原地区とお祭り屋台

桜町 さ

桜町 昔は桜の花いっぱい

八木橋デパートから北へ向かう通称妻沼街道には、桜の樹が植えられていて、桜町通りと呼ばれていました。現在桜の樹はなくなりましたが、桜町の名前は、北大通りの北の街区の町名として残っています。



さ 桜町 昔は桜の花いっぱい
桜町に植えられた桜並木2年後に枯れた 昭和24.5



6 石原地区とお祭り屋台

国道17号 ふ

笛たいこ たたく祭りの17号

熊谷の八坂祭典（やさかさいてん）は、うちわ祭りと言われ、7月20・21・22日の3日間行われます。祭典期間中は、17号国道は歩行者天国となり、全町で12台の山車（だし）・屋台が笛たいこの祭ばやしで、市内を巡業（じゅんぎょう）します。



ふ 笛たいこたたく祭の17号(うちわ祭)

お披露目の三丁目(石原区)屋台(水戸屋前で) 昭和13年7月



←昭和の石原区屋台の写真

提灯に「三丁目」と書いてある。撮影は水戸屋ドライブイン前（現在のファミリーマート）

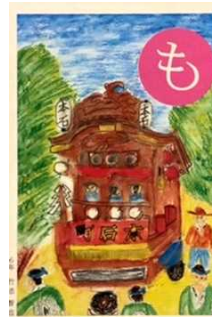


本石の屋台 も

最も重い 本石の屋台

本石の屋台は昭和12年石原1丁目時代に新調されたもので、全町12台の山車・屋台の中で最重量を誇っています。

写真は文化町の映画館前



も 最も重い本石の屋台

屋台新調記念 石原町壹丁目 昭和12年7月13日



第5章

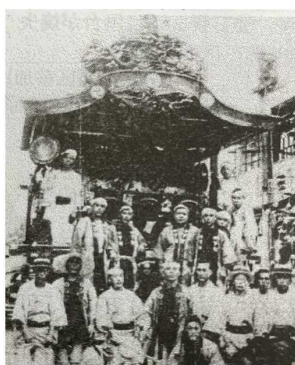
石原地区とお祭り屋台



むかしの屋台は
今の屋台とどこが
ちがうでしょう。

八坂祭典（うちわ祭り）は12町で開催していますが、昭和8年熊谷市制施行の前までは、熊谷地区と石原地区では別々にお祭りを行っていました。その頃は石原地区には上町、仲町、下町の3台の屋台がありました。昭和8年から熊谷石原地区合同でお祭りを行うようになりました。その時に

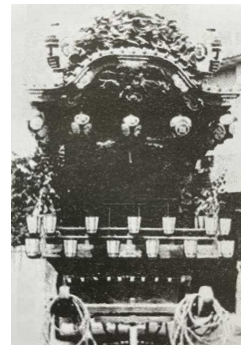
下町は石原1丁目に、
仲町は石原2丁目に、
上町は石原3丁目に変わりました。



下町（1丁目）対象初期頃の作



仲町（2丁目）の屋台 焼失した



平成時の3丁目（石原区）の屋台 昭和11年

1丁目

2丁目→焼失

3丁目

昭和20年の戦争の時に2丁目の屋台は焼失してしまいました。昭和23年の八坂祭典復活時に1丁目と2丁目が合同して、1丁目の屋台を「本石町」と呼ぶこととしました。そのため、現在は本石区の屋台と呼んでいます。なお、旧石原3丁目の屋台は、石原区と呼ばれています。昭和54年には桜町でも屋台を用意してうちわ祭りに参加するようになりました。石原小学校区には現在3台の屋台があります

本石区 石原区 桜町区の3つです。



今の石原小学校区
にある3つ屋台の
町名はなんですか



うちわ祭りの朝の祭礼の様子
八坂神社

うちわ祭りは7月20日朝5時から八坂神社で始まります。役員の方が朝たくさんあつまってお祈りをしてからお祭りが始まります。

うちわ祭りの日程
7月20日 渡御祭 初叩き合い



うちわ祭りは何日
に行われますか

7月21日 巡行祭
7月22日 曳合あわせ叩き合い



本石区の屋台の特徴はなんですか？

本石区屋台の特徴

屋台庫はイオンの前



お囃子(おはやし)
本石区祇園会
ほんごくくぎおんかい

屋台

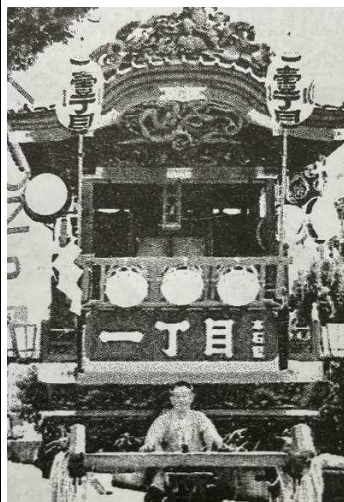
けやきの木で作られた
市内で最も重い屋台
全体に唐獅子牡丹
(からじしぼたん)
がデザインされている。
もとは石原1丁目

本石とは
本町+石原=本石

平成29年 40周年記念に石原一丁目として参加した



なぜ 本石町という名前が付いたのですか。



本石が石原一丁目であった名残

金属模様の石の文字の上が1つ切れている。1丁目の印。



本石町はもとは石原何丁目でしょうか。





石原区の屋台の
特徴は何ですか



石原区はもと石原
何丁目だったでし
ょうか？



石原区の写真に写
っている水戸屋は
今ではなにになっ
ているでしょうか



石原区屋台の特徴

屋台庫は学校の南側 北大通り近く

お囃子(おはやし)

石原区若連睦会

いしわらくわかれんむつみかい

屋台

市内で石原だけ

屋根が四方破風(しほうはふ)
よこからみても屋根が持ち上がって見えるデザイン

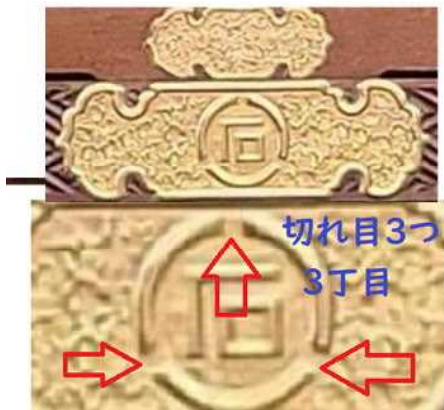
正面に素戔鳴尊

(すさのおのみこと)

大蛇退治がデザインされている。



もとは石原3丁目



金属の彫刻に 切れ目が3つある



横から見た四方破風



桜町区は何年にうちわ祭りに参加しましたか



桜町区の屋台ははじめどこからゆずりうけましたか



桜町区の現在の屋台はいつ作られましたか？

桜町区屋台の特徴

屋台庫 妻沼県道沿い



お囃子(おはやし)

桜町区祇園会

さくらちょうくぎおんかい

屋台

桜町の子供達が、お囃子をするために近くの町区へ参加していた状況を見ていた有志が中心となり、昭和54年に伊勢町区より屋台をゆずりうけてはじめた。平成6年に現在のものが作られた。

からし色のはっぴが特徴



後ろの幕は大樹の桜
(たいじゅのさくら)

石原小学校 歴史年表

年次	西暦	年度	児童数	学校名	世の中のできごと	学校のできごと	校長名
	1872	明治5			学制公布		
1	1873	明治6		石原西学校 石原東学校	徴兵令施行		
2	1874	明治7		石原西学校 石原東学校	郵便貯金開始		
3	1875	明治8		石原西学校 石原東学校	東京気象台設置		
4	1876	明治9		石原西学校 石原東学校	廃刀令		
5	1877	明治10		石原西学校 石原東学校	西南戦争始まる		
6	1878	明治11		石原西学校 石原東学校	両国の米津風月堂が日本で初めてチョコレートを発売		
7	1879	明治12		石原西学校 石原東学校	大阪の朝日新聞社が『朝日新聞』を創刊。		
8	1880	明治13		石原西学校 石原東学校	集会条例が制定される		
9	1881	明治14		石原西学校 石原東学校	自由党結成（板垣退助）		
10	1882	明治15		石原西学校 石原東学校	嘉納治五郎により講道館設立		
11	1883	明治16		石原西学校 石原東学校	鹿鳴館開館		
12	1884	明治17		石原西学校 石原東学校	秩父事件：埼玉県秩父郡の農民が武装蜂起		
13	1885	明治18		石原西学校 石原東学校	伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任		
14	1886	明治19		石原西学校 石原東学校	小学校令・中学校令・師範学校令公布	小学校令 尋常小4 高等小4	
15	1887	明治20		石原小学校	通信省の徽章〒（郵便マーク）印制定		
16	1888	明治21		石原小学校	市制・町村制が公布		
17	1889	明治22		熊谷学校石原分教場	大日本帝国憲法発布	石原村熊谷宿合併	
18	1890	明治23		熊谷町石原尋常小学校	第1回帝国議会	熊谷学校分教場から独立5月16日	
19	1891	明治24		熊谷町石原尋常小学校	大津事件		
20	1892	明治25		熊谷町石原尋常小学校	北里柴三郎伝染病研究所を創立。		
21	1893	明治26		熊谷町石原尋常小学校	君が代が文部省より制定される		田島辰五郎
22	1894	明治27		熊谷町石原尋常小学校	日本、清国に宣戦布告（日清戦争勃発）	石原尋常小学校額寄付 西園寺公望	田島辰五郎
23	1895	明治28		熊谷町石原尋常小学校	日清講和条約調印 三国干涉		田島辰五郎
24	1896	明治29		熊谷町石原尋常小学校	第1回近代アテネオリンピック開幕		田島辰五郎
25	1897	明治30		熊谷町石原尋常小学校	足尾鉍毒被害者800名が上京して請願運動	身体検査実施	田島辰五郎
26	1898	明治31	257	熊谷町石原尋常小学校	西郷隆盛銅像除幕式（上野公園）		田島辰五郎
27	1899	明治32	254	熊谷町石原尋常小学校	東京・大阪間に電話開通		田島辰五郎
28	1900	明治33	286	熊谷町石原尋常小学校	治安警察法公布（3月30日施行）		田島辰五郎
29	1901	明治34	297	熊谷町石原尋常小学校	官営八幡製鉄所の操業が開始	中央校舎新築	田島辰五郎
30	1902	明治35	339	熊谷町石原尋常小学校	初の映画館がロサンゼルスで開業		田島辰五郎
31	1903	明治36	346	熊谷町石原尋常小学校	ライト兄弟、人類初の公開飛行		田島辰五郎
32	1904	明治37	310	熊谷町石原尋常小学校	日露戦争始まる	卒業生心得	田島辰五郎
33	1905	明治38	305	熊谷町石原尋常小学校	日露講和条約（ポーツマス条約）が調印		田島辰五郎
34	1906	明治39	312	熊谷町石原尋常小学校	夏目漱石が「坊っちゃん」を発表；		田島辰五郎
35	1907	明治40	305	熊谷町石原尋常小学校	足尾銅山で暴動		田島辰五郎
36	1908	明治41	382	熊谷町石原尋常小学校	SOSが国際的な遭難信号として採用される。		田島辰五郎
37	1909	明治42	457	熊谷町石原尋常小学校	山手線で電車の運転を開始		田島辰五郎
38	1910	明治43	502	熊谷町石原尋常小学校	韓国併合		田島辰五郎
39	1911	明治44	521	熊谷町石原尋常小学校	日本の関税自主権が回復される。		田島辰五郎
40	1912	大正1	544	熊谷町石原尋常小学校	中華民国成立		田島辰五郎
41	1913	大正2	557	熊谷町石原尋常小学校	最初のミルクキャラメルを発売；		田島辰五郎
42	1914	大正3	569	熊谷町石原尋常小学校	日本がドイツに宣戦布告		田島辰五郎
43	1915	大正4	560	熊谷町石原尋常小学校	対華21か条要求を中国に行う		田島辰五郎
44	1916	大正5	601	熊谷町石原尋常小学校	簿冊番号：類01210	校舎増築 高等小学校併設	田島辰五郎
45	1917	大正6	626	熊谷町石原尋常小学校	米国、ドイツと国交断絶		田島辰五郎
46	1918	大正7	644	熊谷町石原尋常小学校	日本はシベリア出兵を宣言		田島辰五郎
47	1919	大正8	648	熊谷町石原尋常小学校	ベルサイユ条約が調印される	農業科商業科加設	田島辰五郎
48	1920	大正9	691	熊谷町石原尋常小学校	日立製作所設立。		田島辰五郎
49	1921	大正10	756	熊谷町石原尋常小学校	ポーランド、ソ連がリガ条約を結び、ウクライナが分割される		田島辰五郎

年次	西暦	年度	児童数	学校名	世の中のできごと	学校のできごと	校長名
50	1922	大正11	795	熊谷町石原尋常小学校	全国水平社結成		田島辰五郎
51	1923	大正12	852	熊谷町石原尋常小学校	関東大震災（1923年9月1日）		田島辰五郎
52	1924	大正13	880	熊谷町石原尋常小学校	明治神宮外苑競技場が竣工	移動学級 身体検査実施	田島辰五郎
53	1925	大正14	886	熊谷町石原尋常小学校	治安維持法公布	保護者会設立 農業科廃止 校舎増築	田島辰五郎
54	1926	昭和1	919	熊谷町石原尋常小学校	12月25日に大正天皇が崩御		朝比奈茂寿
55	1927	昭和2	957	熊谷町石原尋常小学校	立憲民政党結成	田島辰五郎史頌徳碑ヶ建立	朝比奈茂寿
56	1928	昭和3	965	熊谷町石原尋常小学校	大相撲のラジオ実況放送が開始される。	校歌制定 手工室職員室増築	朝比奈茂寿
57	1929	昭和4	1016	熊谷町石原尋常小学校	ニューヨーク市場が大暴落し、世界恐慌が始まる		福島大蔵
58	1930	昭和5	1011	熊谷町石原尋常小学校	世界恐慌の影響を受けて昭和恐慌が発生した		福島大蔵
59	1931	昭和6	1027	熊谷町石原尋常小学校	満州事変		福島大蔵
60	1932	昭和7	1066	熊谷町石原尋常小学校	日本軍が中国軍に対して総攻撃を行う。		福島大蔵
61	1933	昭和8	1124	熊谷市立石原尋常小学校	日本が満州事変に対する批判を受けて国際連盟を脱退	熊谷市立石原尋常小学校 校舎移転	福島大蔵
62	1934	昭和9	1141	熊谷市立石原尋常小学校	ヒトラーとムッソリーニが初の会談を行う。		福島大蔵
63	1935	昭和10	1443	熊谷市立石原尋常小学校	大リーグが初のナイター試合を行う。	唱和室（音楽室）完成	福島大蔵
64	1936	昭和11	1394	熊谷市立石原尋常小学校	二・二六事件		福島大蔵
65	1937	昭和12	1536	熊谷市立石原尋常小学校	日中は全面戦争		福島大蔵
66	1938	昭和13	1522	熊谷市立石原尋常小学校	国家総動員法公布		福島大蔵
67	1939	昭和14	1608	熊谷市立石原尋常小学校	国際連盟がフィンランド侵略を理由にソ連を除名		福島大蔵
68	1940	昭和15	1668	熊谷市立石原尋常小学校	日独伊三国同盟条約に調印する		福島大蔵
69	1941	昭和16	1620	石原国民学校	日本軍がハワイ真珠湾攻撃、米英に宣戦布告	国民学校令	黒田義平
70	1942	昭和17	1692	石原国民学校	日本軍がマニラを占領		黒田義平
71	1943	昭和18	1720	石原国民学校	第2次世界大戦ドイツ・イタリア軍が降伏する		黒田義平
72	1944	昭和19	1813	石原国民学校	サイパン島で日本軍が全滅		黒田義平
73	1945	昭和20	2143	石原国民学校	日本が無条件降伏で太平洋戦争が終結	西国民学校に教室を貸与	黒田義平
74	1946	昭和21	2073	熊谷市立石原小学校	日本国憲法公布	南小に200名移籍	柳 喜寿
75	1947	昭和22	1668	熊谷市立石原小学校	古橋広之進、水泳400m自由型で世界新記録	大原中に教室を貸与	柳 喜寿
76	1948	昭和23	1676	熊谷市立石原小学校	第1回NHKのど自慢始まる。		柳 喜寿
77	1949	昭和24	1710	熊谷市立石原小学校	湯川秀樹が日本人初のノーベル賞受賞	給食調理室完成	山川達郎
78	1950	昭和25	1798	熊谷市立石原小学校	GHQが日本国内線の開設を許可		山川達郎
79	1951	昭和26	1873	熊谷市立石原小学校	日米安全保障条約調印		山川達郎
80	1952	昭和27	1828	熊谷市立石原小学校	公衆電話が登場		山川達郎
81	1953	昭和28	1849	熊谷市立石原小学校	テレビ放送スタート		山川達郎
82	1954	昭和29	1960	熊谷市立石原小学校	ゴジラ公開		山川達郎
83	1955	昭和30	2014	熊谷市立石原小学校	1円硬貨発行、50円硬貨発行		小久保為治
84	1956	昭和31	1993	熊谷市立石原小学校	日本が国際連合に加盟		小久保為治
85	1957	昭和32	2014	熊谷市立石原小学校	日本最初の原子炉JRR-1が臨界に達する	3号棟完成	太田重雄
86	1958	昭和33	2042	熊谷市立石原小学校	東京タワー完成		新島秀一
87	1959	昭和34	1943	熊谷市立石原小学校	伊勢湾台風（死者5041人、被害家屋57万戸）		新島秀一
88	1960	昭和35	1777	熊谷市立石原小学校	日本でカラーテレビの本放送開始	プール完成 特殊学級設置	新島秀一
89	1961	昭和36	1716	熊谷市立石原小学校	テープレコーダー		新島秀一
90	1962	昭和37	1608	熊谷市立石原小学校	首都高速道路開通。		新島秀一
91	1963	昭和38	1544	熊谷市立石原小学校	ケネディ大統領暗殺	校地拡張 石原小90年のあゆみ創刊	新島秀一
92	1964	昭和39	1501	熊谷市立石原小学校	東京オリンピックが開催		原口昌純
93	1965	昭和40	1527	熊谷市立石原小学校	初の国産旅客機YS-11が就航		原口昌純
94	1966	昭和41	1518	熊谷市立石原小学校	日本の総人口が1億突破		原口昌純
95	1967	昭和42	1471	熊谷市立石原小学校	公害対策基本法公布	体育館竣工 埼玉国体	原口昌純
96	1968	昭和43	1512	熊谷市立石原小学校	日本のG N P、アメリカについて第2位に		原口昌純
97	1969	昭和44	1490	熊谷市立石原小学校	人類初の月面着陸		原口昌純
98	1970	昭和45	1474	熊谷市立石原小学校	日本万国博覧会（大阪万博）開幕		原口昌純
99	1971	昭和46	1486	熊谷市立石原小学校	N H K総合テレビが全番組カラー化を実施		神沼新十郎
100	1972	昭和47	1498	熊谷市立石原小学校	札幌冬季オリンピック開催	火災のため木造校舎二棟22教室焼失	神沼新十郎
101	1973	昭和48	1511	熊谷市立石原小学校	オイルショック	2号棟完成 100周年記念運動会	神沼新十郎

年次	西暦	年度	児童数	学校名	世の中のできごと	学校のできごと	校長名
102	1974	昭和49	1533	熊谷市立石原小学校	コンビニ第1号店『セブン-イレブン』が開店		神沼新十郎
103	1975	昭和50	1524	熊谷市立石原小学校	第二次ベビーブーム		神沼新十郎
104	1976	昭和51	1531	熊谷市立石原小学校	ロッキード事件		須長栄作
105	1977	昭和52	1519	熊谷市立石原小学校	国民栄誉賞が創設され、王貞治が受賞。		須長栄作
106	1978	昭和53	1529	熊谷市立石原小学校	成田空港開港		須長栄作
107	1979	昭和54	1586	熊谷市立石原小学校	第二次オイルショックが起こる	木造校舎取り壊し	須長栄作
108	1980	昭和55	1530	熊谷市立石原小学校	第1回の全国規模のホワイトデー開催	1号棟完成 新プール竣工ステンレス	稲村滋治
109	1981	昭和56	1583	熊谷市立石原小学校	スペースシャトル コロンビアが打ち上げ成功		稲村滋治
110	1982	昭和57	1572	熊谷市立石原小学校	東北新幹線 上越新幹線開業		稲村滋治
111	1983	昭和58	1543	熊谷市立石原小学校	東京ディズニーランド開園		稲村滋治
112	1984	昭和59	1454	熊谷市立石原小学校	グリコ・森永事件		有泉是芳
113	1985	昭和60	1388	熊谷市立石原小学校	日本航空123便墜落事故		有泉是芳
114	1986	昭和61	1396	熊谷市立石原小学校	ハレー彗星が76年ぶりの地球接近		生方恒一
115	1987	昭和62	1288	熊谷市立石原小学校	東北自動車道が全線開通		生方恒一
116	1988	昭和63	1224	熊谷市立石原小学校	東京ドームが完成	埼玉博覧会	生方恒一
117	1989	平成1	1153	熊谷市立石原小学校	昭和天皇崩御、昭和から平成に		渋谷文夫
118	1990	平成2	1140	熊谷市立石原小学校	バブル経済崩壊で株が暴落		渋谷文夫
119	1991	平成3	1118	熊谷市立石原小学校	東京都庁が新宿に移転し、新東京都庁舎開庁		来間平八
120	1992	平成4	1094	熊谷市立石原小学校	日本人宇宙飛行士・毛利衛が宇宙へ出発	3号棟改修	来間平八
121	1993	平成5	1093	熊谷市立石原小学校	皇太子・雅子さま御結婚	120周年行事	来間平八
122	1994	平成6	1078	熊谷市立石原小学校	オウム真理教によって松本サリン事件発生		清水信二
123	1995	平成7	1079	熊谷市立石原小学校	阪神・淡路大震災		清水信二
124	1996	平成8	1055	熊谷市立石原小学校	「O157」による食中毒が全国各地で発生		清水信二
125	1997	平成9	1055	熊谷市立石原小学校	消費税率を5%に引き上げ	石原小ホームページ開設	新島養平
126	1998	平成10	1016	熊谷市立石原小学校	冬季長野オリンピック開催		新島養平
127	1999	平成11	1024	熊谷市立石原小学校	東海村核燃料加工会社で臨界事故		新島養平
128	2000	平成12	1044	熊谷市立石原小学校	イチローが野手として日本人初の大リーガーとなる		新島養平
129	2001	平成13	1049	熊谷市立石原小学校	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園		加賀崎公子
130	2002	平成14	1025	熊谷市立石原小学校	2002 FIFAサッカーワールドカップ日韓開幕	2号棟耐震工事	加賀崎公子
131	2003	平成15	1016	熊谷市立石原小学校	鳥インフルエンザ感染発生	130周年記念行事	加賀崎公子
132	2004	平成16	974	熊谷市立石原小学校	新潟県中越地震（死者68名）	彩の国まごころ国体 児童クラブ併設	加賀崎公子
133	2005	平成17	917	熊谷市立石原小学校	JR福知山線で脱線事故、107人死亡		田尻 悟
134	2006	平成18	861	熊谷市立石原小学校	日本の人口、減少局面に		田尻 悟
135	2007	平成19	827	熊谷市立石原小学校	猛暑、熊谷・多治見で40.9度		田尻 悟
136	2008	平成20	832	熊谷市立石原小学校	秋葉原で通り魔、7人死亡		浅見信行
137	2009	平成21	793	熊谷市立石原小学校	民主圧勝、政権交代		浅見信行
138	2010	平成22	762	熊谷市立石原小学校	小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶり帰還	新体育館竣工	浅見信行
139	2011	平成23	716	熊谷市立石原小学校	東日本大震災、原発事故で甚大被害		浅見信行
140	2012	平成24	708	熊谷市立石原小学校	山中教授にノーベル医学生理学賞		向井邦明
141	2013	平成25	686	熊谷市立石原小学校	アベノミクス始動	140周年記念行事	向井邦明
142	2014	平成26	678	熊谷市立石原小学校	御嶽山が噴火、57人死亡6人不明		向井邦明
143	2015	平成27	699	熊谷市立石原小学校	ISが邦人人質殺害		飯田明彦
144	2016	平成28	732	熊谷市立石原小学校	熊本地震、死者150人超		飯田明彦
145	2017	平成29	786	熊谷市立石原小学校	衆院選で自民大勝、民進が分裂	通級指導教室設置 いしわらっこ誕生	飯田明彦
146	2018	平成30	775	熊谷市立石原小学校	オウム松本元死刑囚らの刑執行	3号棟大規模改修	飯田明彦
147	2019	令和1	781	熊谷市立石原小学校	天皇退位、2019年4月末に	トイレ改修工事 ラグビーワールドカップ	飯田明彦
148	2020	令和2	771	熊谷市立石原小学校	コロナ禍で全国の学校で休業	GIGAスクール構想研究	関根達郎
149	2021	令和3	746	熊谷市立石原小学校	東京2020オリンピック開催	2号棟大規模改修	関根達郎
150	2022	令和4	724	熊谷市立石原小学校	成人年齢が18歳に引き下げ	150周年式典開催	関根達郎
151	2023	令和5	685	熊谷市立石原小学校	コロナ5類になる	石原小教育フェスタ開催	関根達郎

大正14年12月28日 保護者会発足

歴代PTA会長

初代	昭和	23 ~ 24	松崎静雄	17代	平成	2 ~ 3	金井仁
2代	昭和	25 ~ 32	雲田太一	18代	平成	4 ~ 6	佐藤博文
3代	昭和	33 ~ 34	西田貞雄	19代	平成	7 ~ 8	栗原良太
4代	昭和	35 ~ 38	鳥場重徳	20代	平成	9 ~ 10	川田光輝
5代	昭和	39 ~ 40	竹内作治	21代	平成	11 ~ 12	手島隆治
6代	昭和	41 ~ 46	水谷嘉之	22代	平成	13 ~ 14	中島正義
7代	昭和	47	栗原儀一	23代	平成	15 ~ 16	浅見治彦
8代	昭和	48	松本泰治	24代	平成	17 ~ 18	田野隆広
9代	昭和	49 ~ 51	中村治夫	25代	平成	19	西田善明
10代	昭和	52	浅見武雄	26代	平成	20 ~ 21	高橋雅彦
11代	昭和	53	田島貞雄	27代	平成	22 ~ 23	大石聡一
12代	昭和	54 ~ 56	宇田川晴男	28代	平成	24 ~ 25	反町順司
13代	昭和	57 ~ 58	佐久間俊雄	29代	平成	26 ~ 27	大川正行
14代	昭和	59 ~ 61	並木昌平	30代	平成	28 ~ 30	西田勝
15代	昭和	62 ~ 63	田代崇郎	31代	令和	1 ~ 2	田辺昌史
16代	平成	1	山口利通	32代	令和	3 ~ 5	藤間太郎

参考文献

- 1) 石原小学校 「石原小 90 年のあゆみ」(1964)
- 2) 石原小学校 「石原小学校沿革誌」
- 3) 関口 和好 江戸時代の熊谷宿を探訪する (2022)
- 4) 石原小学校 石原小学校区 郷土かるた (2009)
- 5) 平井 隆 石原公民館講座 石原界隈の昭和懐古戦中戦後の風景 (2020)
- 6) 平井 隆 石原公民館講座 熊谷懐古点描 (2021)
- 7) 関口和義 石原公民館講座 八坂神社の歴史 (2023)
- 8) 日下部朝一郎 熊谷人物事典 昭和 57 年(1982)
- 9) 平井隆 石原小文化祭資料 石原小懐古 (2022)
- 10) 熊谷市文化連合 熊谷の文化財 1968
- 11) 室田好男 ぶらっとくまがや神のまち (2002)
- 12) 室田好男 ぶらっとくまがや寺の町 (2002)
- 13) 中島忠武 やさしい熊谷の歴史 (1973)

御協力をいただいた方々 敬称略

校閲 平井 隆

地域 関口和好 平井 隆 平井加奈子 米山 実 唐崎瑞穂 飯島澄堂 西田 勝
関根基治

イラスト 田島自栄 唐崎瑞穂

創立 150 周年実行委員 藤間太郎 田辺昌史 西田 勝 高橋雅彦 中島悠太 松崎真哉 杉田昌紀
富田敬一 田島自栄 藤波大地

令和 5 年度 石原小職員

関根達郎 阿左見直昭 鶴飼雄一 出浦芳枝 国井貴子 橋上雅予 森田明義 森田 明
萩原 秀美 坂本美季 中村隆太 吉田望未 清水さやか 田口応子 青山沙樹 小関 遼
茂手木奈々 三澤典子 多田順也 新島はづき 代 桂子 栗原由樹 齊藤優美 小暮幸代
内田立子 清水隆章 水野美結 下田 楓 落合千穂 秋元孝文 石井里実 大和田雅史
小林啓介 小林達史 会田智子 八百 優 形山智子 福島敏子 湯浅杏奈 大石静恵
柴野由美子 富岡洸太 尾池恵理 松本亜美 阿部亜美 掛川 栞 金田奈都美 林 千春
鈴木将光 三菅香澄 遠藤雅子

創立 150 周年記念誌 副読本 わたしたちの石原

発行 熊谷市立石原小学校

熊谷市立石原小学校 PTA

〒360-0816 埼玉県熊谷市石原 3-1-1 TEL 048-521-0019

印刷

発行日 令和 5 年 12 月 25 日

いし わら しょう がっ こう こう く ず 石原小学校 校区図



石原小の校章には稲が入っています。地面の下に石の多い石原の水田で育った稲は美味しいお米になり忍藩の献上米でした。水質も良好で坪井の井戸水は忍藩で用水でもありました。水は酒造りや熊谷染にも使われていました。

忍領石標
1780年に忍藩主が領地の境界を示し、他藩との境界争いを防ぐため十六か所にたてた石標のひとつ。今でも学区の境に立つ。

このあたり古墳が多く「四十八塚」と呼ばれた。

熊谷の胎内くぐりは高城神社と赤城久伊豆神社で行われます。6/30に茅の輪が掛けられます。

忍城主・成田氏が開削した用水堀の源に当たる荒川の水門に久伊豆神社を勧請したが、境内地が浸食されたため赤城神社に合祀、赤城久伊豆神社となる。鳥居の一つは赤城山を向いている。

石原小学校の校歌の作詞は熊谷出身の文芸評論家・哲学者・政治家である石坂養平(1885-1969)。石坂は郷土の発展、地域青年の文化育成に尽力しました。石原小のほか近隣の学校(奈良小、中、大幡小、大原中、別府中、熊谷東中、妻沼西中、東中、熊谷高校)の校歌も作詞しています。



石坂養平

昔の石原は「水郷の地」。古くは荒川の広い河原の一部でした。

熊谷市立石原小学校

- ・明治6年石原東学校、石原西学校ができて以来150周年を迎える。
- ・生徒数 724人
- ・3号棟は熊谷初の鉄筋校舎



大原墓地

竹井澹如、伊奈忠次、林有章など名家のお墓がある。

報恩寺

平安時代から鎌倉時代にかけて活躍した有名な武将、熊谷次郎直実の娘、玉津留姫の建てたお寺。元は熊谷郵便局の場所にあった。

円光塚

円光塚は熊谷次郎直実の愛馬「権田栗毛」のお墓。石碑は熊谷寺を再興した幡随意という浄土宗の優れた和尚さんが書いたと言われています。



かめの道

東武熊谷線廃線跡を利用した公園。ゆっくり走る列車だったため愛称「かめ号」。

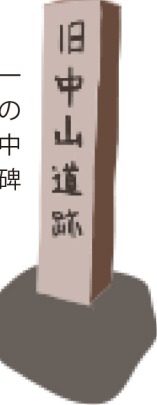
埼玉県蚕業試験場

ひろば

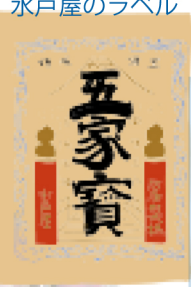
ひろばには蚕業試験場がありました。今でも南入口に黒御影石の銘板があります。平成10年に閉業するまで大正2年からの85年間蚕業の発展に貢献しました。また隣接して熊谷地方気象台がありますが、当時の基幹産業である蚕業の中心地が熊谷であったためと推測されています。

旧中山道

八木橋百貨店の中を通り、一番街、八坂神社を通り現在の国道17号にあたるまでが旧中山道です。八木橋西側の石碑は本石に住まわれていた書家・柴田侑堂の書です。石原小の校長室にある校歌の額も侑堂によるもの。



熊谷銘菓「五家宝」の起源の一つとして1818~1829(文政年間)に水戸藩から忍藩に移り、成田用水の水役人を勤めていた水野源助が武士を辞め、中山道沿いに駄菓子屋(茶店)を開いた際、故郷の銘菓「吉原殿中」を参考にして干菓子「五嘉棒」を作って売り出したと伝わる。水戸屋の五家宝ラベルには「石原大橋」のイラストが入っている。これは中山道が成田用水を渡る場所にあった橋で別名「養安橋」。忍藩の医師志村養庵先生が私財を投じて建立した。



水戸屋のラベル

足利と入間をつなぐ国道407号。熊谷警察署と本石2丁目の交差点まで国道17号と重なっています。